

平成26年度

高知県学力定着状況調査結果の概要  
速報版

平成27年2月

高知県教育委員会

# 平成26年度高知県学力定着状況調査の概要

## I. 調査の目的

本県の学力課題である小学校中学年の二極化、中1ギャップによる学力の低下に対応するために、小学校第4・5学年及び中学校第1・2学年の児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

## II. 調査の対象

### (1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第4・5学年

### (2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第1・2学年

県立中学校第1・2学年

#### ◇小学校解答児童数

##### 第4学年

国語 5,374人      算数 5,376人

##### 第5学年

国語 5,565人      算数 5,563人      理科 5,566人

#### ◇中学校解答生徒数

##### 第1学年

国語 4,875人      社会 4,876人      数学 4,871人

理科 4,872人      外国語（英語） 4,877人

##### 第2学年

国語 4,856人      社会 4,850人      数学 4,843人

理科 4,841人      外国語（英語） 4,845人

## III. 調査事項

### (1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

### (2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

## IV. 調査実施日

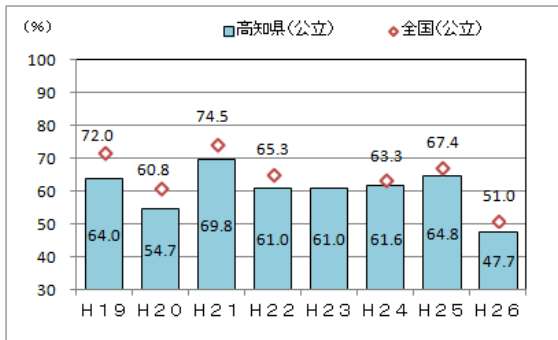
平成27年1月9日（金）



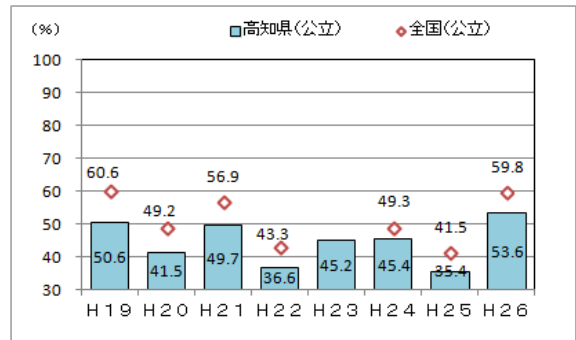
# これまでの学力調査結果等から明らかになった本県の課題

## 1 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

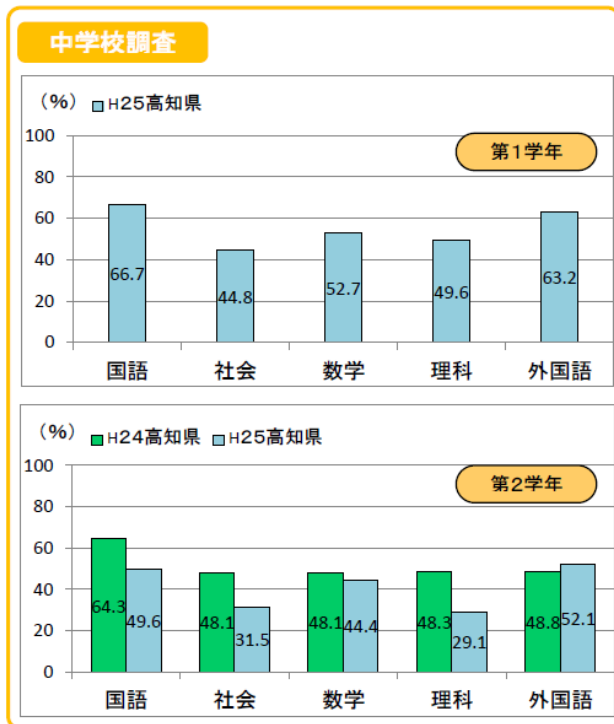
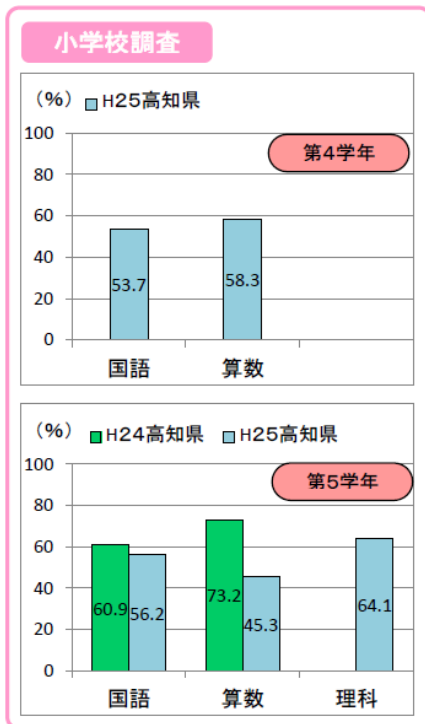
中学校国語B



中学校数学B



## 2 高知県学力定着状況調査結果（平成24年度及び平成25年度の平均正答率）



### 現状

- 基礎的・基本的な知識や技能に関する問題については、一定の定着が見られる。
- 複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには依然として課題が見られる。

上記のような現状を踏まえ、児童生徒一人一人の学習の定着状況を把握するとともに、これまでの課題の改善状況を捉え、学習指導の充実や指導方法の改善に生かし、学習内容の確実な定着を図るために、高知県学力定着状況調査を実施しています。



教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本
社会	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

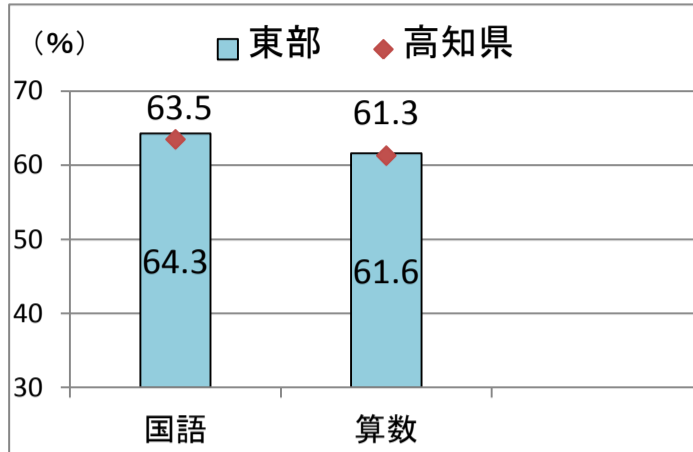
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

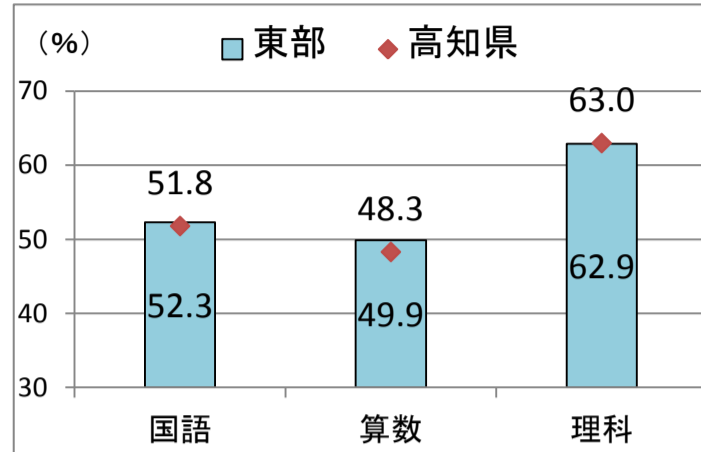
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

### 東部教育事務所

小学校第4学年

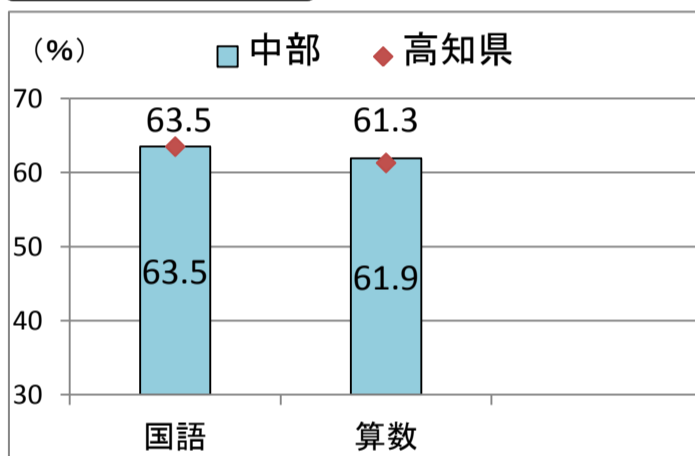


小学校第5学年

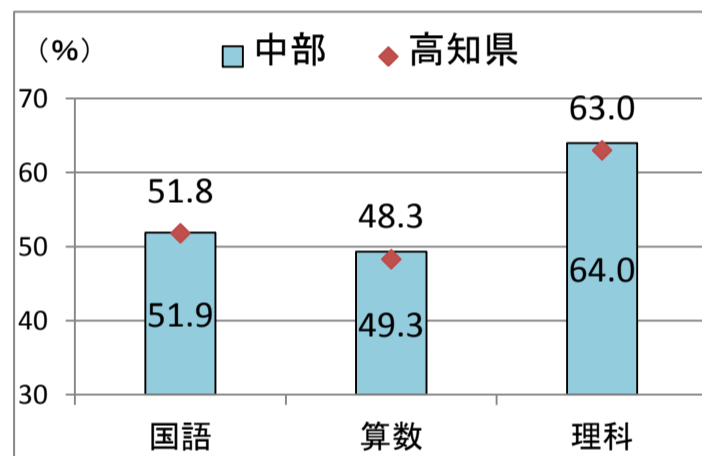


### 中部教育事務所

小学校第4学年

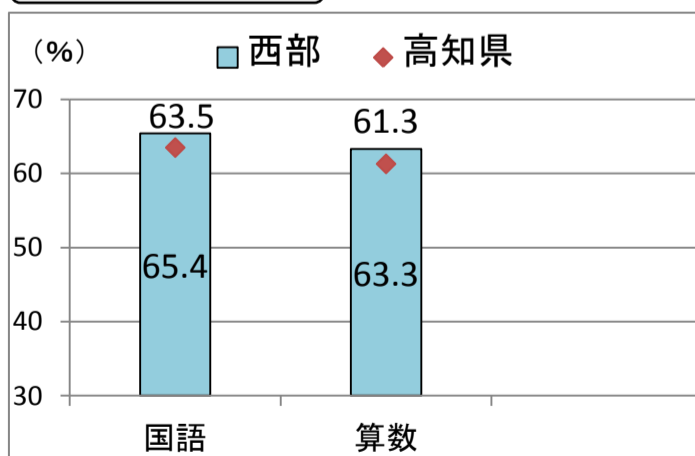


小学校第5学年

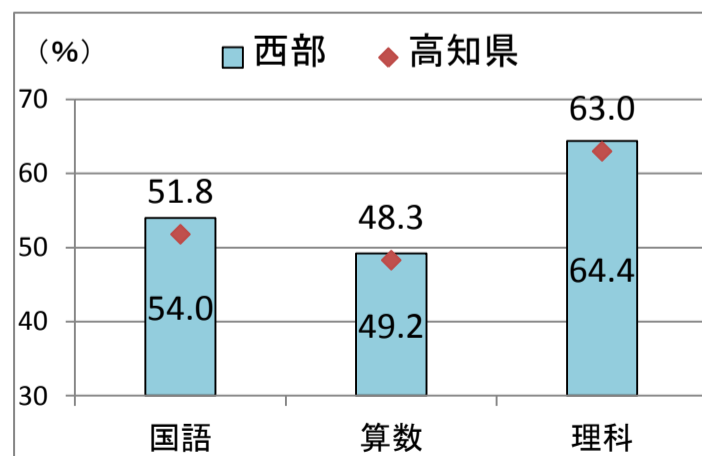


### 西部教育事務所

小学校第4学年

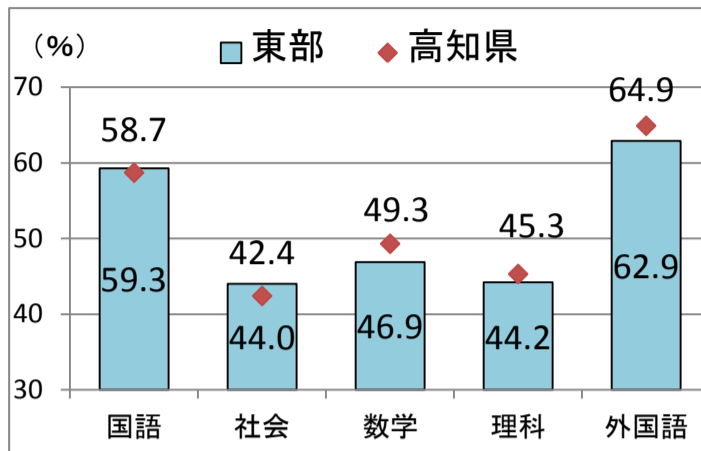


小学校第5学年

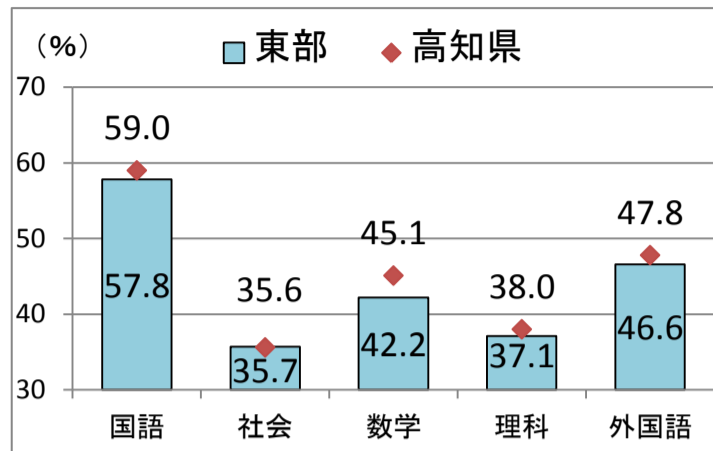


## 東部教育事務所

中学校第1学年

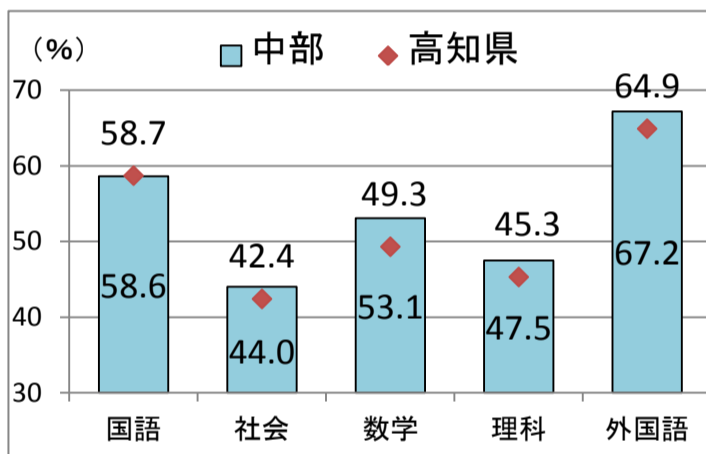


中学校第2学年

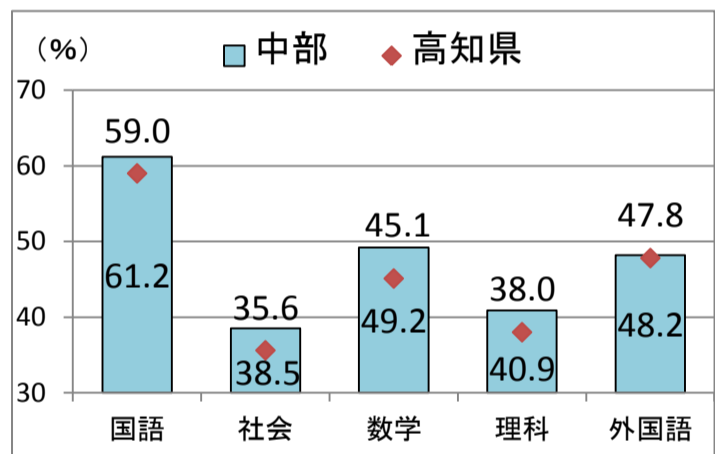


## 中部教育事務所

中学校第1学年

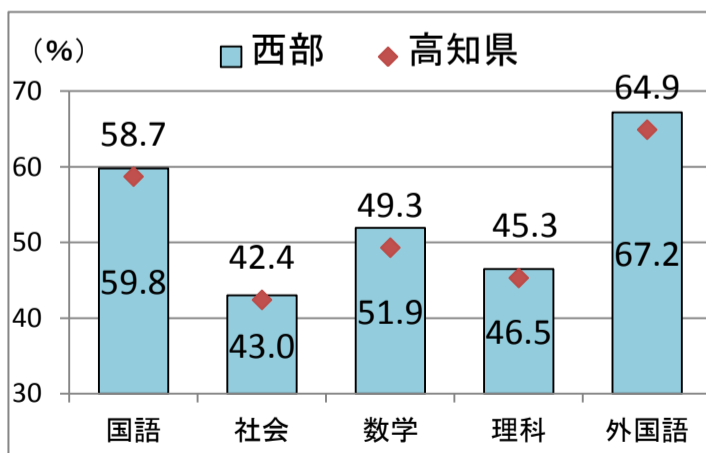


中学校第2学年

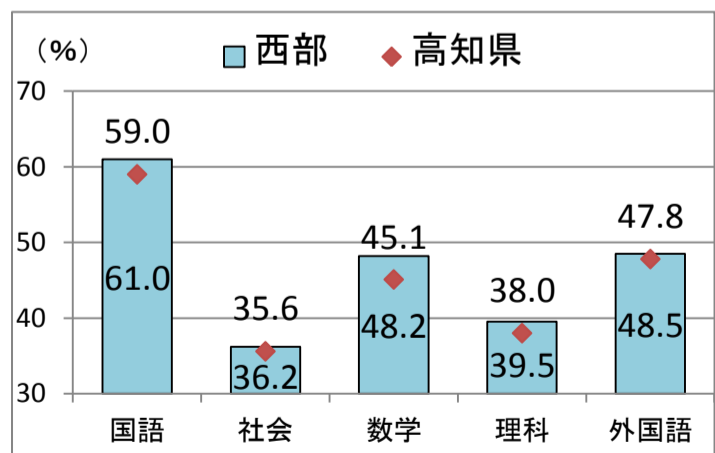


## 西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年

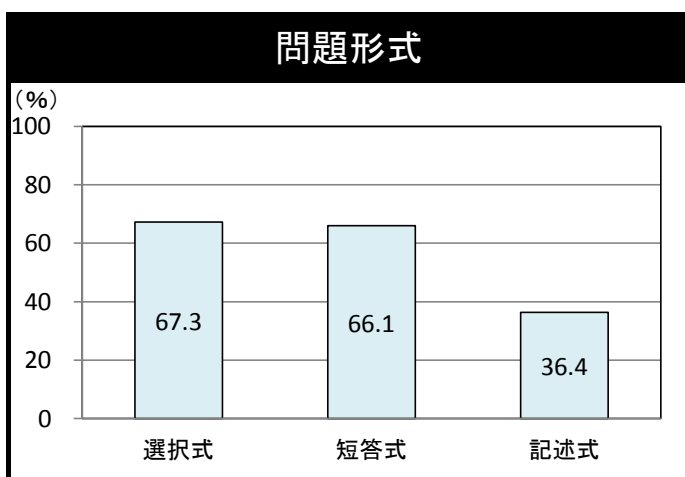
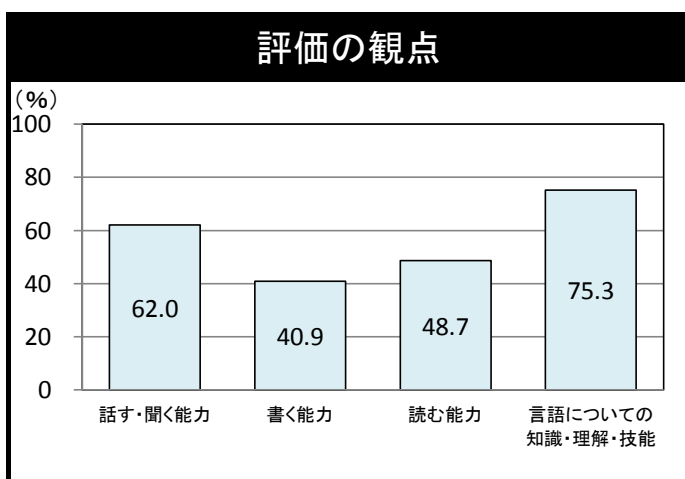
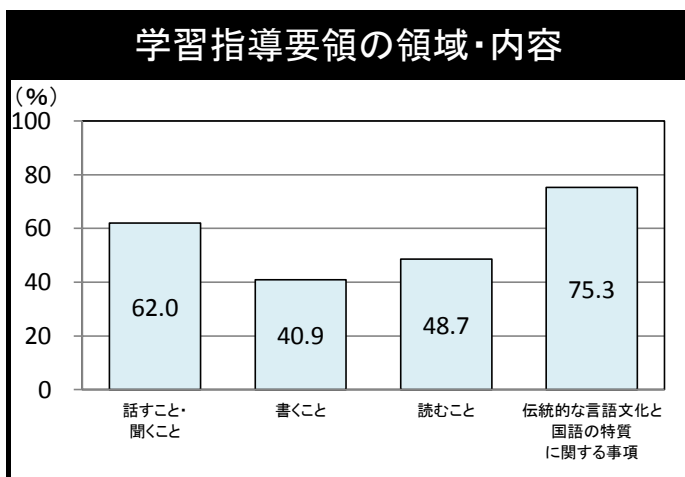
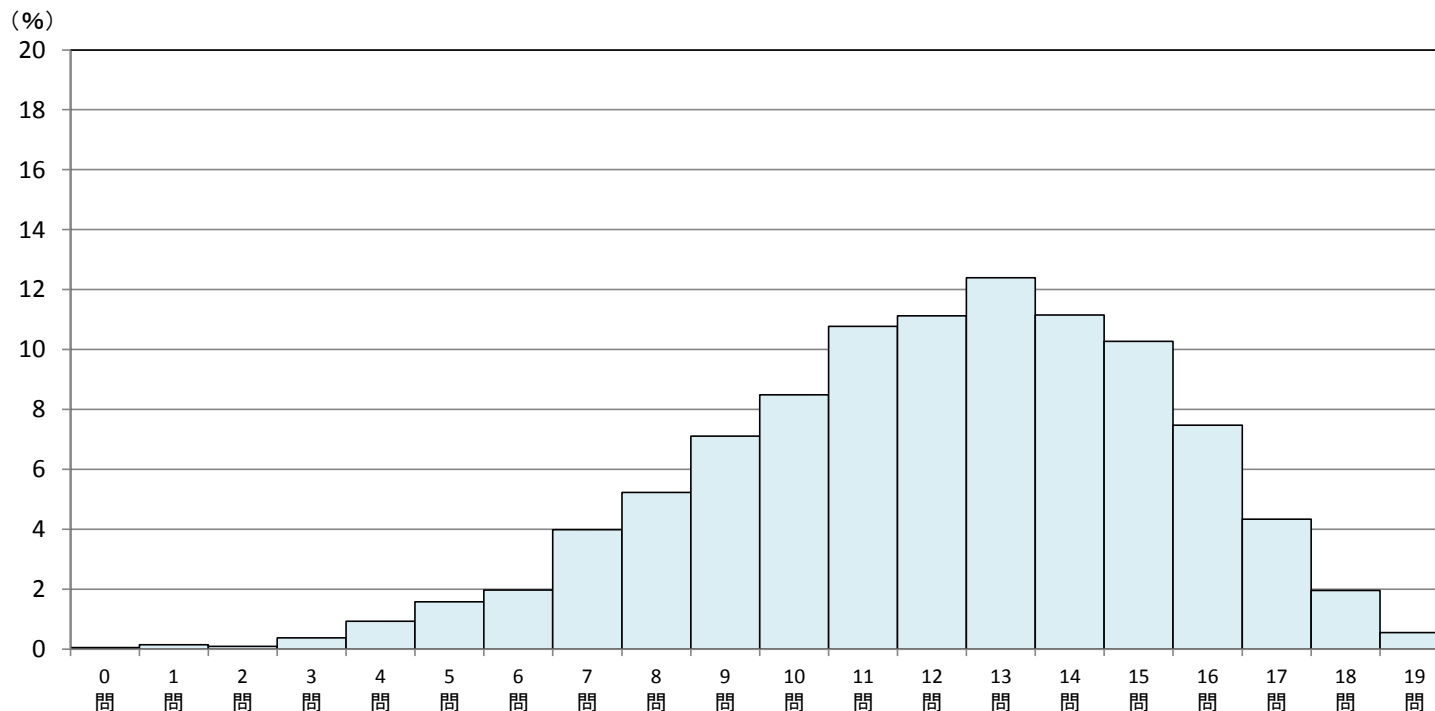


小学校第4学年 国語  
【分類・区分別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,374	12.1 / 19	63.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.4
4問	0.9
5問	1.6
6問	2.0
7問	4.0
8問	5.2
9問	7.1
10問	8.5
11問	10.8
12問	11.1
13問	12.4
14問	11.1
15問	10.3
16問	7.5
17問	4.3
18問	2.0
19問	0.6

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



国語の平均正答率は63.5%で、例えば次のような課題が見られた。

・書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて理由を挙げて書くこと  
[3三 正答率43.9%、無解答率14.7%]

三 山内さんは新聞の「学校での遊び」についての記事を書こうと思いましたが、あなたが書くなら、どちらの記事を書きますか。つぎの(条件)に合わせて、しよいかいしたい理由が分かるように書きましょう。

(条件)  
○「四年生の行事」または、「学校での遊び」のどちらかをえらんで、解答用紙に○をつけること。  
○書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、七十文字以内にとめて書くこと。なお書き出しの言葉は、字教にふくみません。  
○「〜からです。」で書き終わること。

イ に、三年生にしようかいいたい「四年生の行事」または、「学校での遊び」についての記事を書こうと思いましたが、あなたが書くなら、どちらの記事を書きますか。つぎの(条件)に合わせて、しよいかいしたい理由が分かるように書きましょう。

ツルレイシって何かわかる？  
理科の学習では、ツルレイシを育てます。  
この植物をたまごや肉といっしょにいためる調理の料理があります。  
わたしは育てたツルレイシを使って、家で毎に作ってもらいました。少し辛いけれど、おいしかったです。  
春にたねをまいて、夏には実がたくさんできるので、みなさんも楽しみに育ててくださいね。

三年生へのメッセージ  
わたしはこの新聞を書くために四年生の生活、とくに伝えたいことを三つえらびました。四年生になるみなさんの役に立つたらうれしいです。

3 四年生の山内さんは新聞係として、毎月一回学級新聞を作り、学級の様子をしようかいています。三月は、特に三年生に向けて四年生の生活の様子を伝えよう、次のような新聞を作っています。この新聞について、あとの問いに答えましょう。

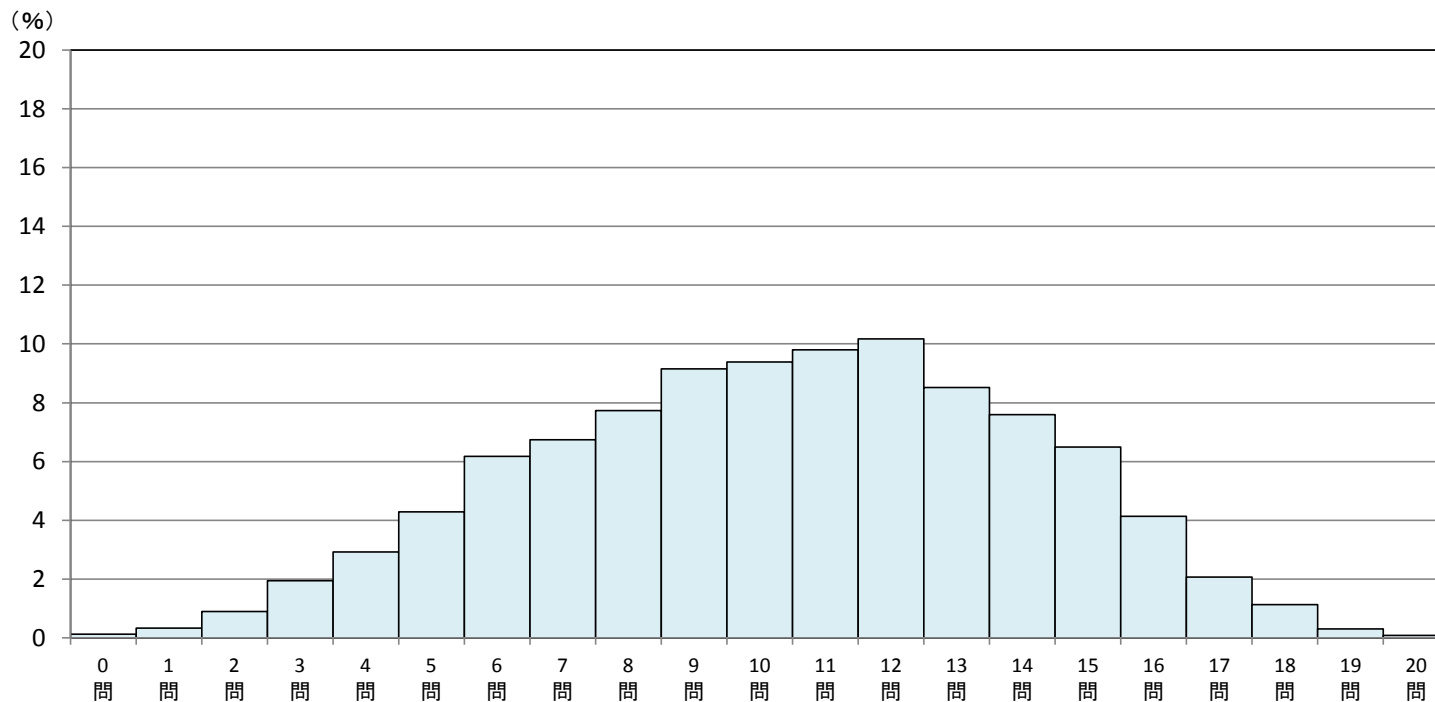
※学習シート等との関連  
国語学習シート No.85・88  
国語指導改善資料集 P.10～17



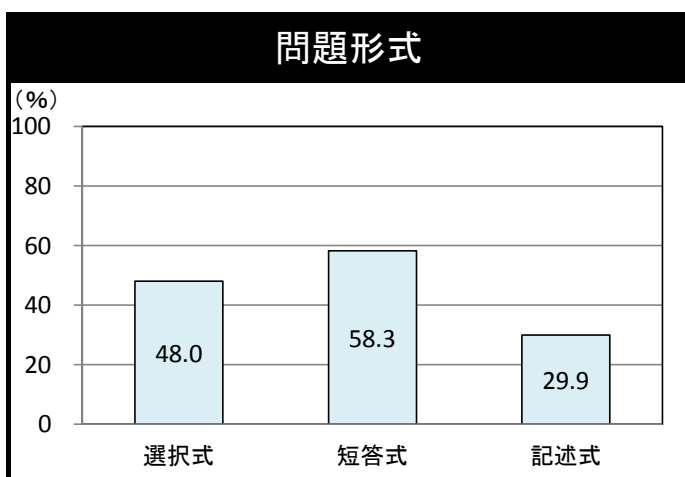
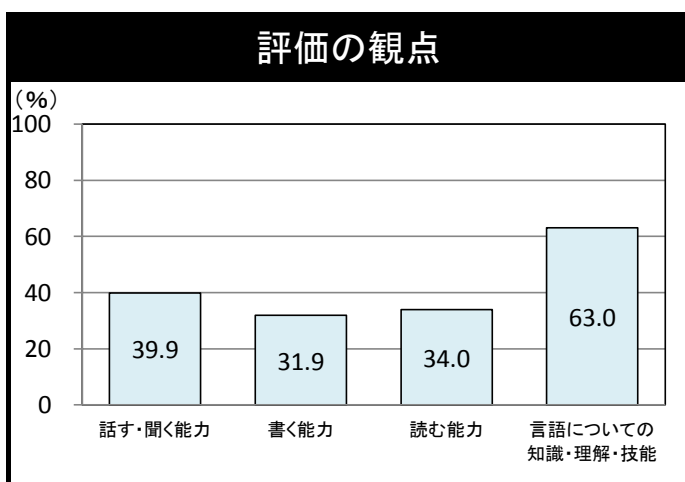
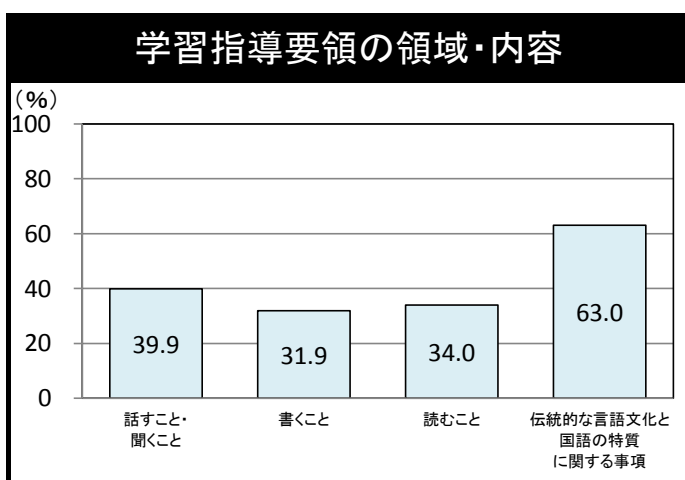
小学校第5学年 国語  
【分類・区分別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,565	10.4 / 20	51.8

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.9
3問	1.9
4問	2.9
5問	4.3
6問	6.2
7問	6.7
8問	7.7
9問	9.1
10問	9.4
11問	9.8
12問	10.2
13問	8.5
14問	7.6
15問	6.5
16問	4.1
17問	2.1
18問	1.1
19問	0.3
20問	0.1



国語の平均正答率は51.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・目的に応じて複数の文章を比べて読み、適切に引用して書くこと

[2三 正答率13.3%、無解答率14.0%]

○ 「花を食べる」の説明文の内容から「」を使って引用して書くこと。  
○ 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、五十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。  
○ 「」からです。「」で書き終わるまで。

【自主学习ノートの一部】

	外国	日本
花を食べる習慣	ある。 (特に、ヨーロッパで多く食べられている。)	ある。
食べられる花の種類	パンジー・バラなど、多くの種類がある。	桜・さく・たんぽぽ・すみれ・つばき・ぼたんなど多くの種類がある。
食べ方	野菜や果物と同じ感覚で、食べられている。	食べやすいようにくふうして食べられている。
食べる以外の使い方	料理のかざりやかおりづけなどに使われている。	

【まとめ】

日本と外国を比べると、どちらも花を食べる習慣があり、多くの種類の花が食べられていることが分かりました。また、食べる以外の使い道もよく似ていると思いました。そう思った理由は、外国で「料理のかざりやかおりづけ」に使われているように、日本でも、

しかし、ちがうところもあります。それは、…(あとに続く)

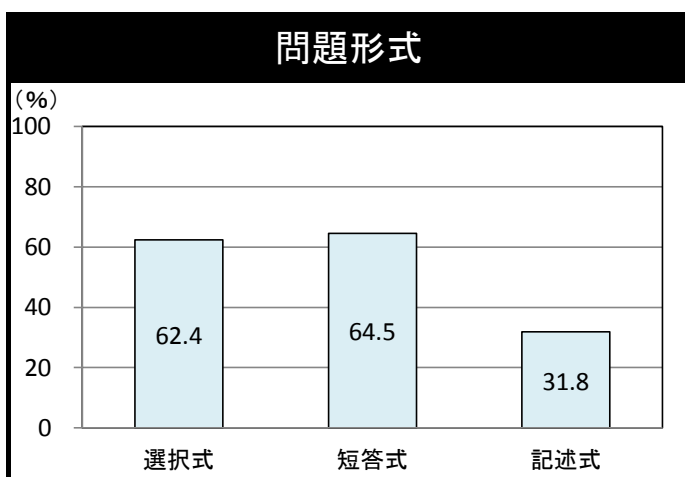
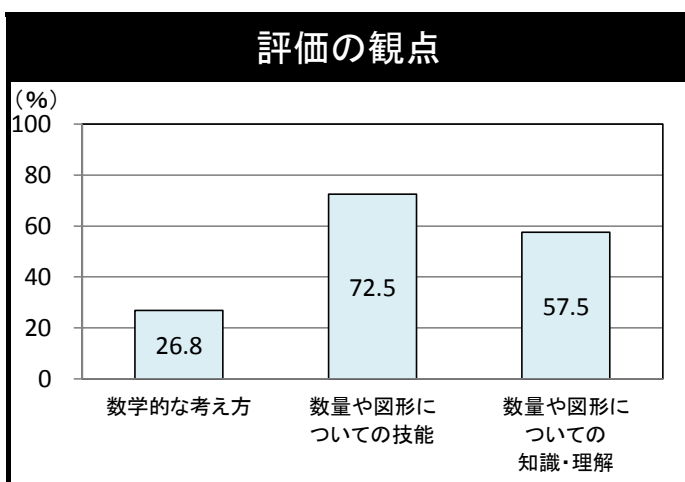
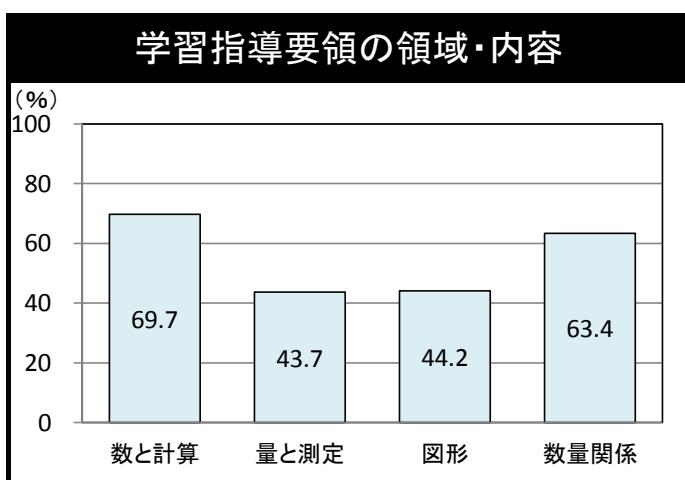
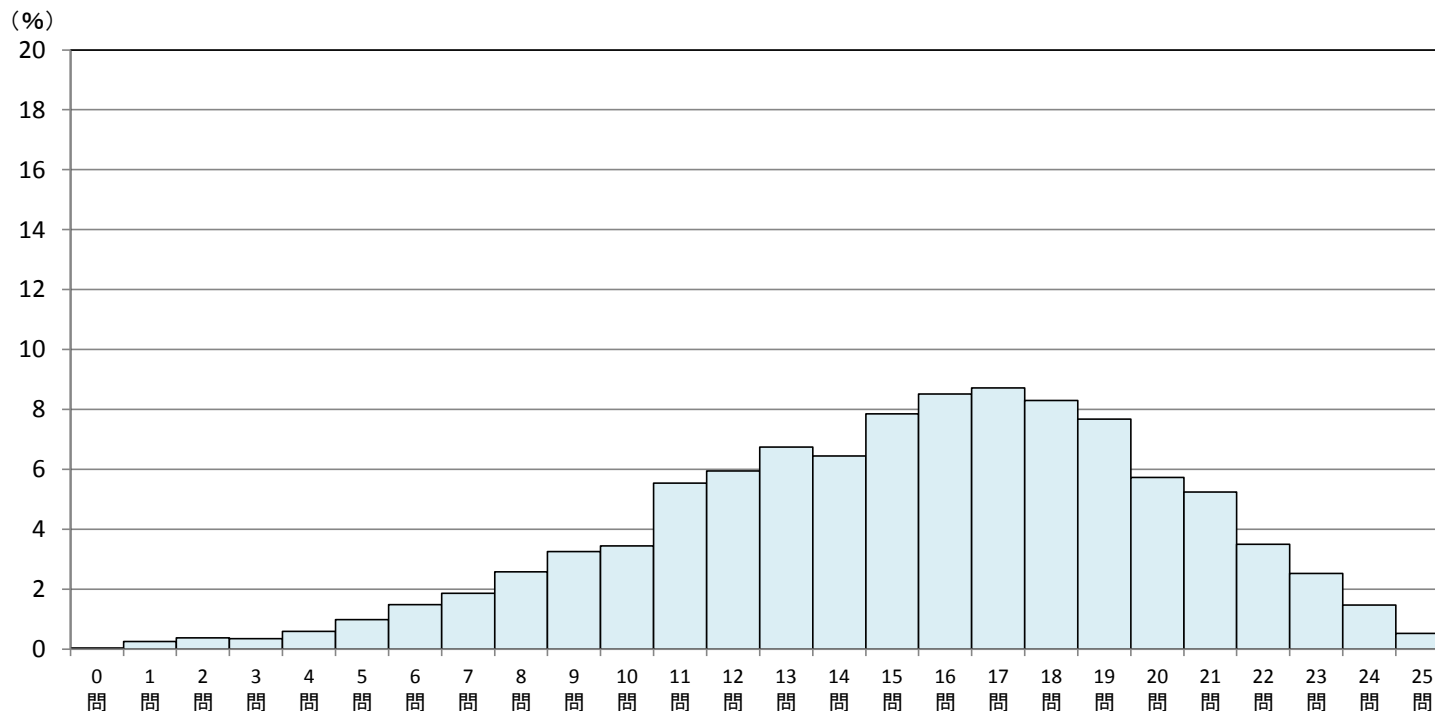
三 長田さんは、説明文を読んだあと、「外国でも花を食べるのかな」と疑問を持ちました。そこで、本やインターネットで調べ、外国と日本を比べながら、まとめを書いています。【自主学习ノートの一部】の中に書かれている(まとめ)の( )の中には、どのような内容が入りますか。ふさわしい内容を、あとの(条件)に合わせて書きましょう。

※学習シート等との関連  
国語学習シート No.107・125

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,376	15.3 / 25	61.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.3
2問	0.4
3問	0.4
4問	0.6
5問	1.0
6問	1.5
7問	1.9
8問	2.6
9問	3.3
10問	3.4
11問	5.5
12問	6.0
13問	6.8
14問	6.5
15問	7.8
16問	8.5
17問	8.7
18問	8.3
19問	7.7
20問	5.7
21問	5.2
22問	3.5
23問	2.5
24問	1.5
25問	0.5

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



算数の平均正答率は61.3%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報を基に必要な量と残りの量の大きさを判断し、その理由を記述できること  
 [11(2) 正答率12.3%、無解答率11.3%]

**11** 冬休みにしゅんたさんたちは、土佐和紙を使ってたこを作りました。下の図1から図3は、しゅんたさんたちが作ったこの形と竹ひごをはった位置をしめしています。

図1 長方形

図2 ひし形

図3 正方形

(2) しゅんたさんたちは、たこをやぶれにくくするために、図1から図3のたこのすべての辺に紙テープをはることにしました。しゅんたさんは、たこのそれぞれの辺のはしからはしまで紙テープをはるために、たこの辺の長さに合わせて、8mの紙テープを切り分けようとしています。

3まいのたこのすべての辺の長さに8mの紙テープを切り分けることができますか。

下の1から3までの中から1つえらびましょう。また、その番号をえらんだわけを言葉と数を使って書きましょう。

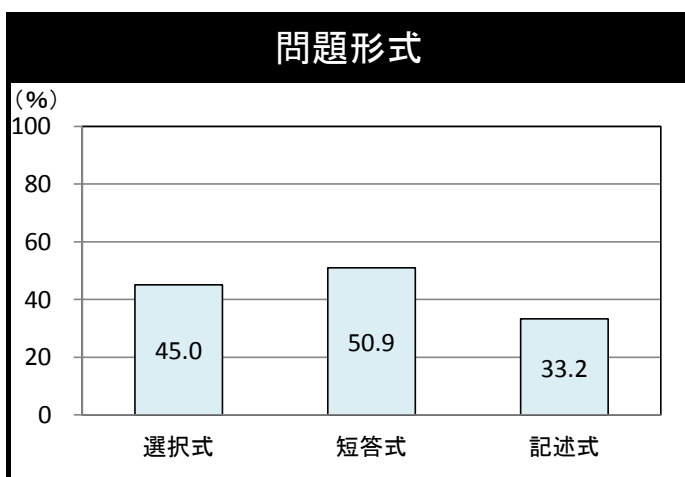
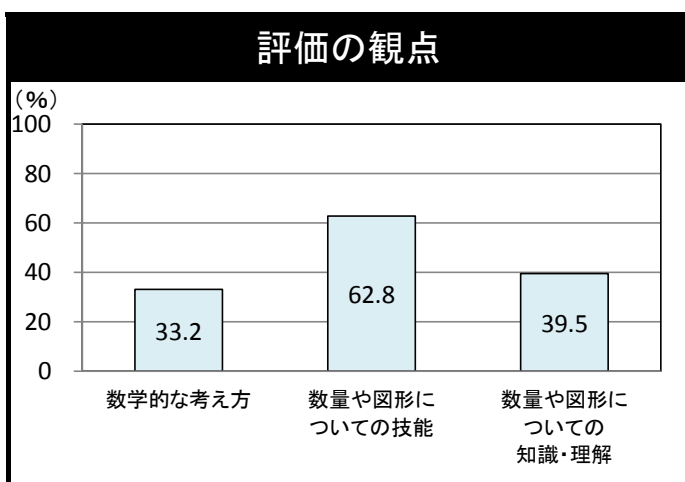
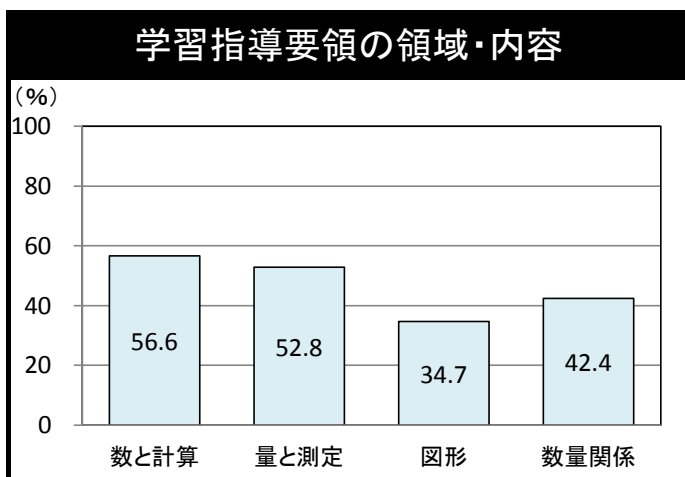
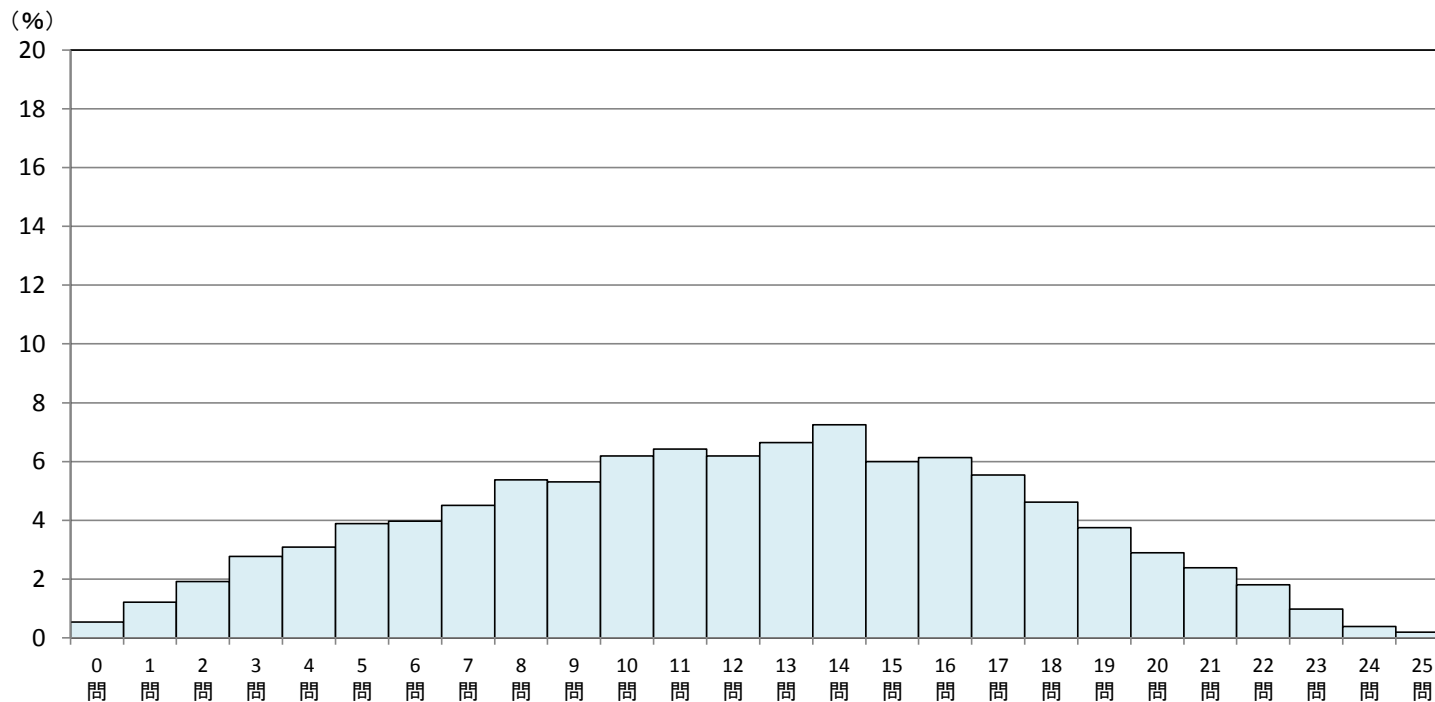
- 1 紙テープは足りなくなって、すべての辺の長さに切り分けることができない。
- 2 紙テープはあまることなく、すべての辺の長さに切り分けることができる。
- 3 紙テープはすべての辺の長さに切り分けることができ、あまる。

小学校第5学年 算数  
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,563	12.1 / 25	48.3

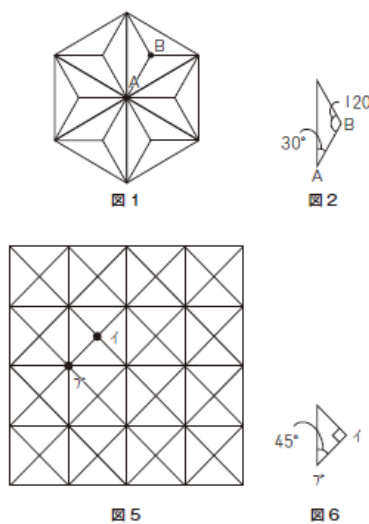
正答数 (割合(%))	
0問	0.5
1問	1.2
2問	1.9
3問	2.8
4問	3.1
5問	3.9
6問	4.0
7問	4.5
8問	5.4
9問	5.3
10問	6.2
11問	6.4
12問	6.2
13問	6.7
14問	7.2
15問	6.0
16問	6.1
17問	5.5
18問	4.6
19問	3.8
20問	2.9
21問	2.4
22問	1.8
23問	1.0
24問	0.4
25問	0.2

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



算数の平均正答率は48.3%で、例えば次のような課題が見られた。  
・数学的に表現された説明を基に、敷き詰めることができる理由を記述できること  
[13(3) 正答率18.6%、無解答率40.1%]

(3) 下の図1、図5の図形は、それぞれ図2、図6の図形と合同な図形でしきつめることができます。



【くみこさんの説明】

図1の点Aには、図2の図形と合同な図形が12こ集まっています。集まった図形の角の大きさはすべて等しく、 $30^\circ$ です。12この角を合わせると、 $30 \times 12 = 360$ で、 $360^\circ$ になります。  
図1の点Bには、図2の図形と合同な図形が3こ集まっています。集まった図形の角の大きさはすべて等しく、 $120^\circ$ です。3この角を合わせると、 $120 \times 3 = 360$ で、 $360^\circ$ になります。  
点A、点Bともに、集まった角の大きさの和は $360^\circ$ になることから、すき間なくならべられていることがわかります。  
だから、図1の図形は図2の図形でしきつめることができます。

上の【くみこさんの説明】を参考にして、図5の図形が図6の図形でしきつめることができる理由を考えます。点A、点Iにそれぞれ集まっている図形の数と角の大きさをもとに数と言葉を使って書きましょう。

くみこさんは、ある点に集まっている図形の数と角の大きさについて調べ、図形をしきつめることができる理由を考えようとしています。  
図1を見ると、点Aには、図2の図形と合同な図形が12こ集まり、点Bには、図2の図形と合同な図形が3こ集まっています。このことから、くみこさんは、図1の図形が図2の図形でしきつめることができることについて、右のように説明しました。

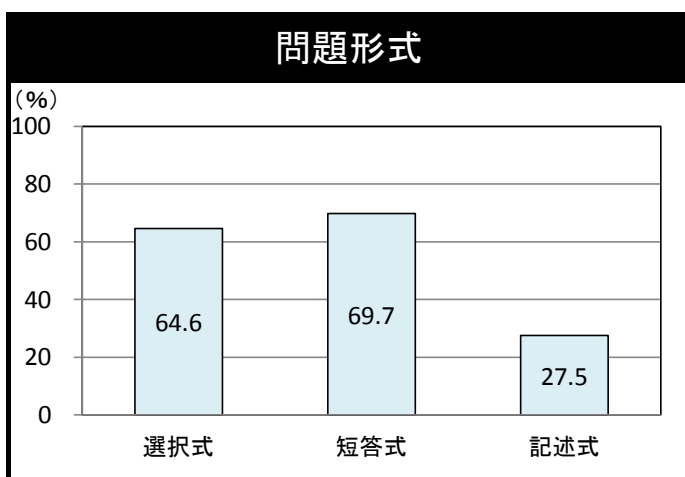
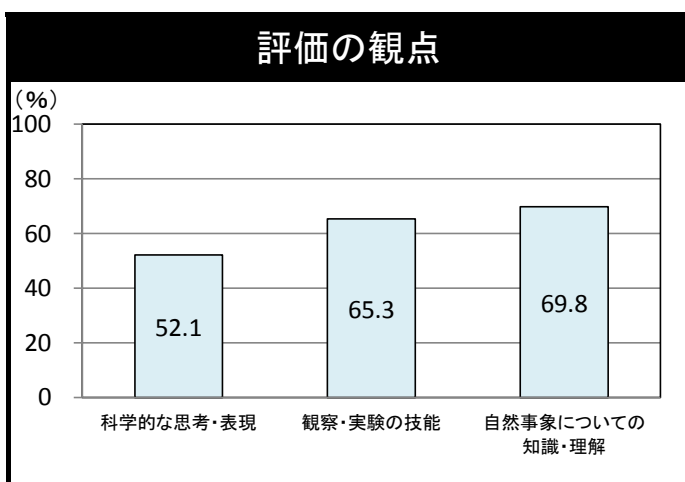
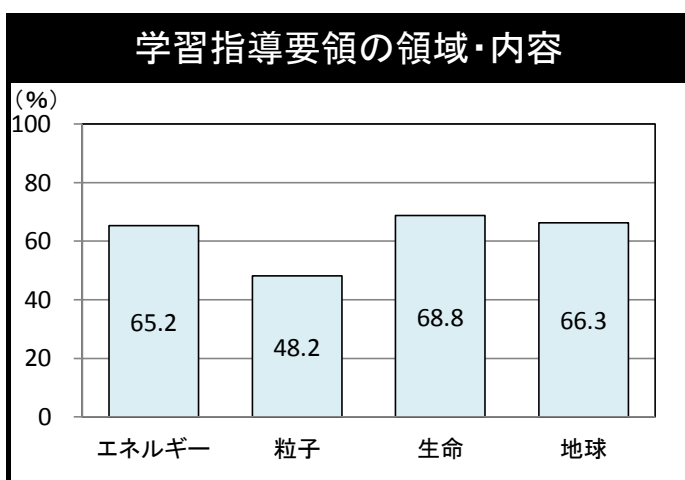
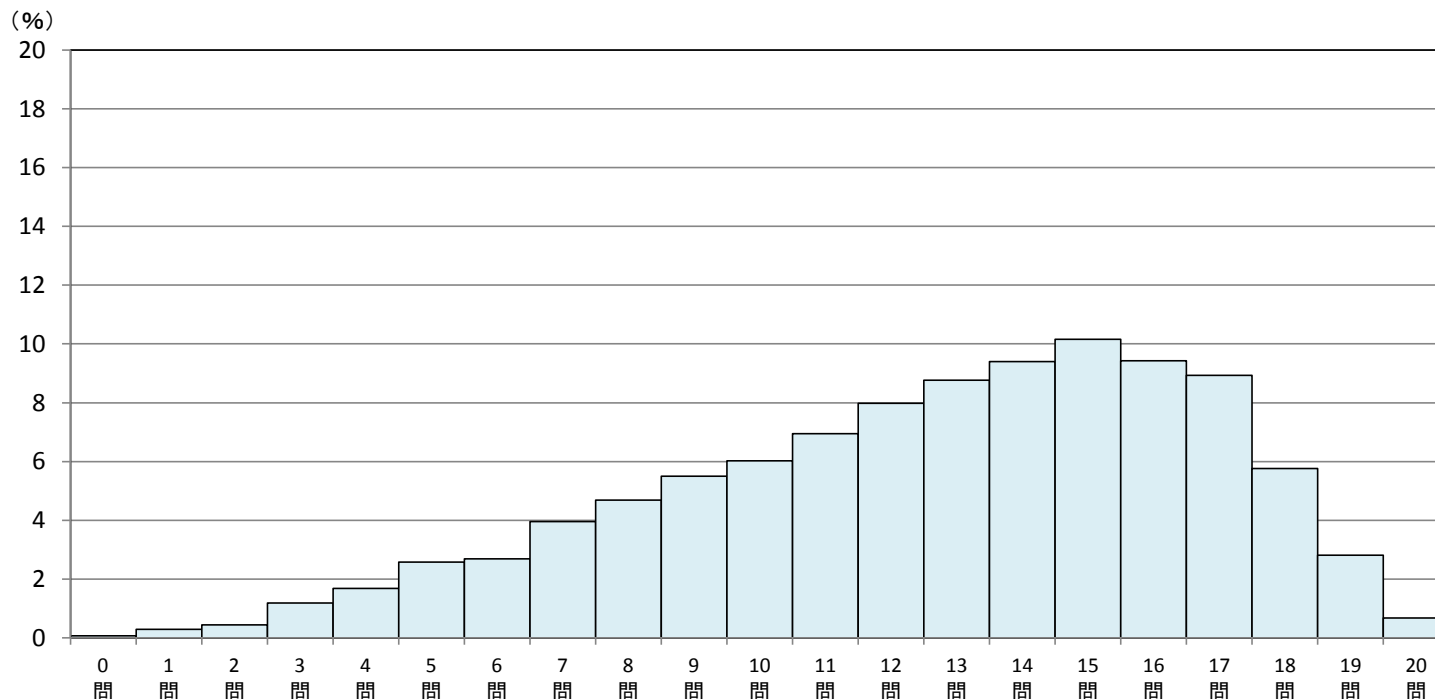
※学習シート等との関連  
5年算数シート No.20

小学校第5学年 理科  
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,566	12.6 / 20	63.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	0.4
3問	1.2
4問	1.7
5問	2.6
6問	2.7
7問	4.0
8問	4.7
9問	5.5
10問	6.0
11問	7.0
12問	8.0
13問	8.8
14問	9.4
15問	10.2
16問	9.4
17問	8.9
18問	5.8
19問	2.8
20問	0.7

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



理科の平均正答率は63.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・流れる水の働きについて調べる実験を、条件を制御しながら考えること

[3(3) 正答率45.0%、無解答率8.3%]

けんさんたちは、話し合ったことをもとに、次のような実験をしました。

実験2 あ が変わると、流れる水のはたらきがどのように変わるか調べる。

【実験方法】

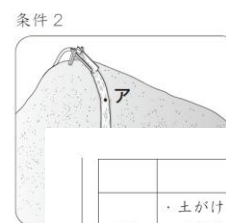
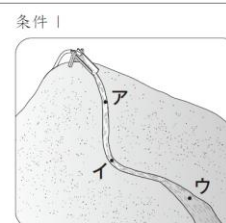
① 小石や砂を混ぜた土で、かたむきが同じ山を2つつくり、曲がったところのあるみぞをつくる。

② 調べる場所を決める。

ア: 坂のかたむきが急な場所  
イ: みぞが曲がっている場所  
ウ: 坂のかたむきがゆるやかな場所

③ それぞれの山の上から、みぞに水を流し、ア・イ・ウの3つの場所で、水が流れたところ(地面)のようすや水によって運ばれるものを調べる。

④ おがくずを流して、水の速さを調べる。



【実験結果】

- ① 流れる水の速さは、条件2の方が条件1より速かった。
- ② 水が流れた後のようすは次のページ

	条件1	条件2
ア	・土がけずられていた。 ・小石は残っていた。	・土は、条件1より深くけずられていた。 ・小石が流された。
イ	・曲がっているところの外側は、土がけずられていた。 ・曲がっているところの内側は、土が積もっていた。	・曲がっているところの外側は、条件1より深くけずられていた。 ・曲がっているところの内側は、土が条件1よりも多く積もっていて、運ばれた小石もあった。
ウ	・運ばれてきた土が積もっていた。	・条件1より、下の方に多くの土が積もっていた。

(3) めぐみさんの意見の変わる条件の あ と実験2の あ には、同じ言葉が入ります。 あ に当てはまる言葉を書きましょう。

※学習シート等との関連

高知県理科思考力問題集 小5-06

【本調査と関連がある『高知県理科思考力問題集』】

高知県理科思考力問題集 流水の働き

基礎の確認

1 次の文章の( )にあてはまることばを下の□からえらんで書きましよう。

(1) 流れる水には、地面などをけずる( ), けずった土などをおし流す( ), おし流した土などを積みらせる( )のつづきはたらきがあります。

(2) 流れが( ) ところでは、地面などをけずったり、けずった土などをおし流したりするはたらきがきかなくて、流れが( ) ところでは、おし流した土などを積みらせるはたらきがきかなくて、( ) ところでは、おし流した土などを積みらせるはたらきがきかなくて、カーブの( ) でおし流した土などを積みらせるはたらきがきかなくて、

外側 内側 ゆるやかな 速い たい積 運ばん しみ貫

2 次の文章の( )にあてはまることばを下の□からえらんで書きましよう。

川が曲がっているところでは、外側の流れが( ), 内側の流れが( ) なっています。

川の土流と下流では、流れの速さ、土砂の石の量がちがっています。( ) には流れがゆるやかで川床が広がり、小さくて丸みのある石が多くなります。( ) では流れが速く、両岸はがけになっており、大きな石が多くなります。

土流 下流 おそく 速く

次頁参照 教科書 5-2 2-21ページ  
教科書 5-2 94-119ページ



小5-06 流水の働き



中1-07 植物の体のつくりと働き

高知県理科思考力問題集 植物の体のつくりと働き

基礎の確認

1 次の問いに答えよう。

(1) めしべの先端にある、花粉がくっつくやぐらになっている部分のことを何といいますか。( )

(2) めしべの先端にある、花粉がくっつくやぐらになっている部分のことを何といいますか。( )

(3) めしべの中心にある、花粉がくっつくやぐらになっている部分のことを何といいますか。( )

(4) 花びらにある、花粉がくっつくやぐらになっている部分のことを何といいますか。( )

(5) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(6) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(7) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(8) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(9) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(10) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(11) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(12) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(13) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(14) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(15) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(16) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(17) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(18) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(19) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(20) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

2 次の問いに答えよう。

(1) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(2) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(3) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(4) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(5) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(6) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(7) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(8) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(9) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(10) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(11) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(12) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(13) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(14) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(15) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(16) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(17) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(18) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(19) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

(20) 花びらに接する部分のことを何といいますか。( )

次頁参照 教科書 1-2 2-46ページ  
教科書 1-2 128-131ページ

『高知県理科思考力問題集』や『授業アイデア例』を活用し、思考力を育む授業づくりを進めていきましょう。

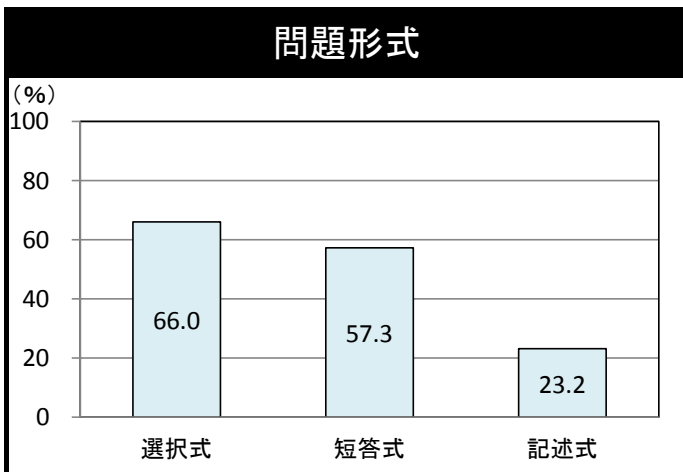
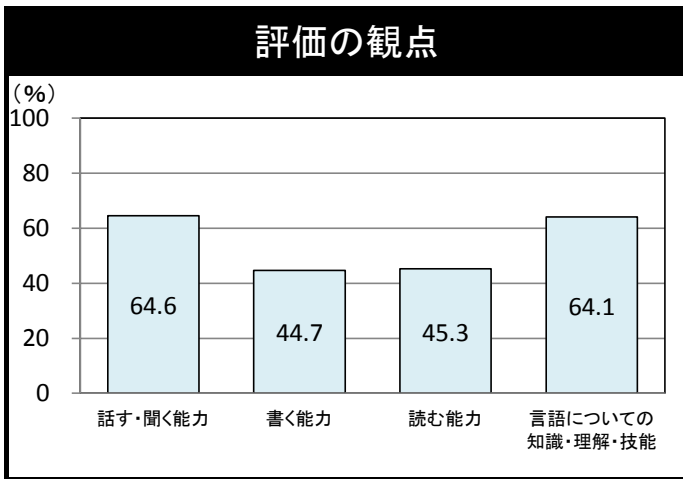
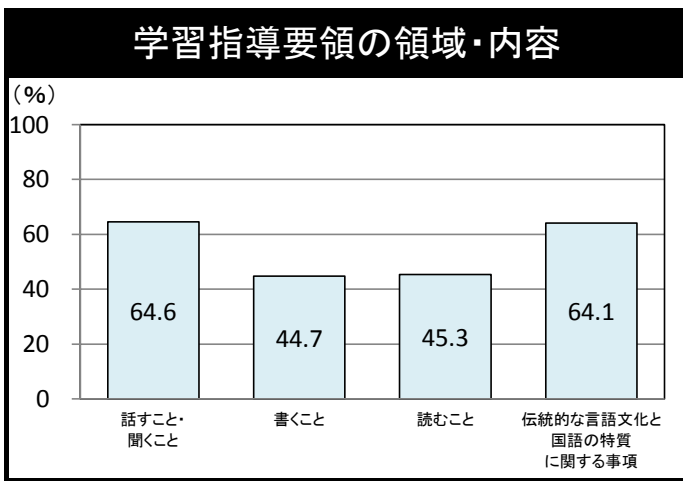
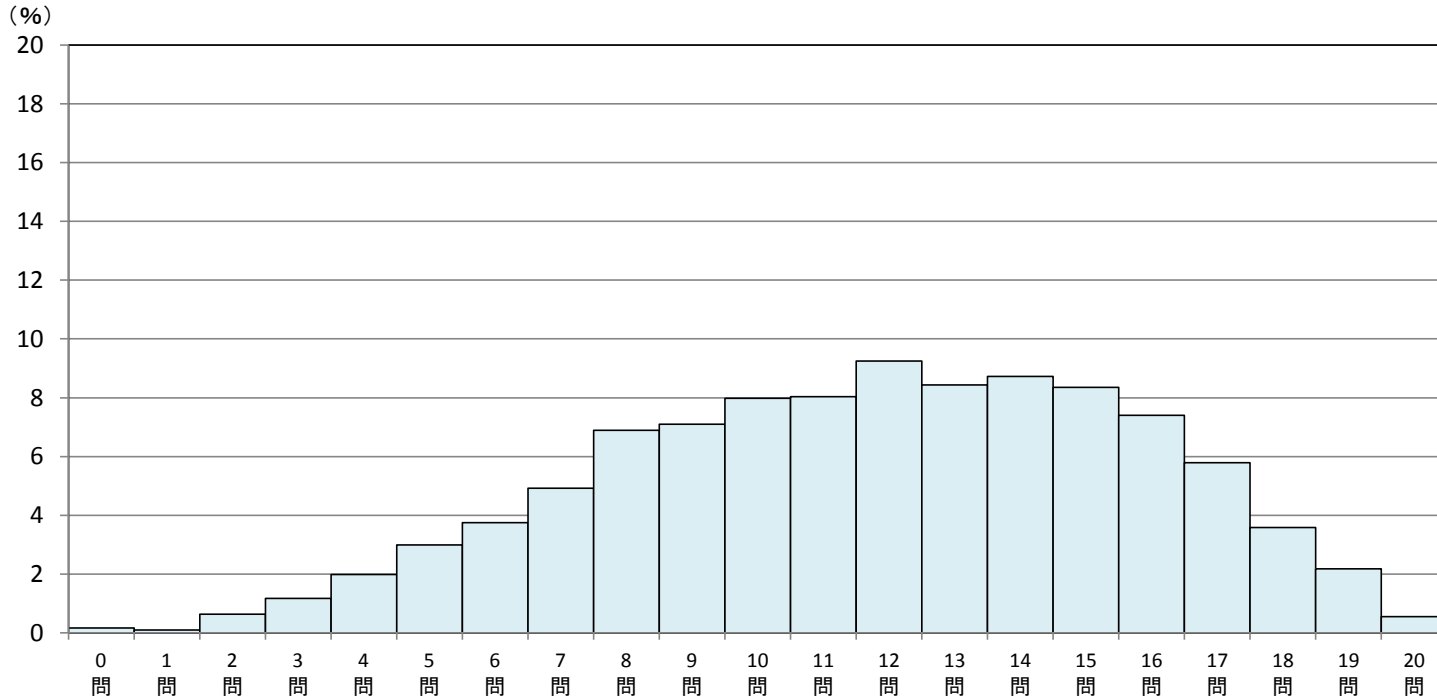


中学校第1学年 国語  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,875	11.7 / 20	58.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.1
2問	0.6
3問	1.2
4問	2.0
5問	3.0
6問	3.8
7問	4.9
8問	6.9
9問	7.1
10問	8.0
11問	8.0
12問	9.3
13問	8.4
14問	8.7
15問	8.3
16問	7.4
17問	5.8
18問	3.6
19問	2.2
20問	0.6

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



国語の平均正答率は58.7%で、例えば次のような課題が見られた。

・文章の内容について根拠を明確にして自分の考えを書くこと

[2三 正答率21.5%、無解答率21.9%]

三 この「ものづくりで生きる」の文章を読んだあとで、「現代の名工」と呼ばれる人の考えについて、もっと知りたいと思って資料を探してみると、現代の名工に選ばれた久保田さんを紹介した次の「新聞記事」を見つけました。この新聞記事を読んで、あなたが感じたことを考えたことを、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。

【新聞記事】

ひと

「まるご自分が生かされる。働き手には甲斐ないが、良い仕事ができる。少しは稼いでも、たかもしない」と謙虚な久保田さん。日本では「二人プロパット、マイスター（職人）」の言葉を誇りに、厚労省の本年度の「現代の名工」に選ばれた。

現代の名工に選ばれたパット職人 久保田 五十平さん

「パット職人は、日本の伝統的な技術で、手作業で、材料がすべて。パットの数は、パットの種類によって変わります。パットの数は、パットの種類によって変わります。パットの数は、パットの種類によって変わります。」

「パット職人は、日本の伝統的な技術で、手作業で、材料がすべて。パットの数は、パットの種類によって変わります。パットの数は、パットの種類によって変わります。」

条件1 新聞記事の中から、久保田さんの考えが分かるところを引用したり、要約したりして書くこと。  
 条件2 この新聞記事について、あなたが感じたことを考えたことを具体的に書くこと。  
 条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

2003年（平成15年）11月20日付 高知新聞より転載

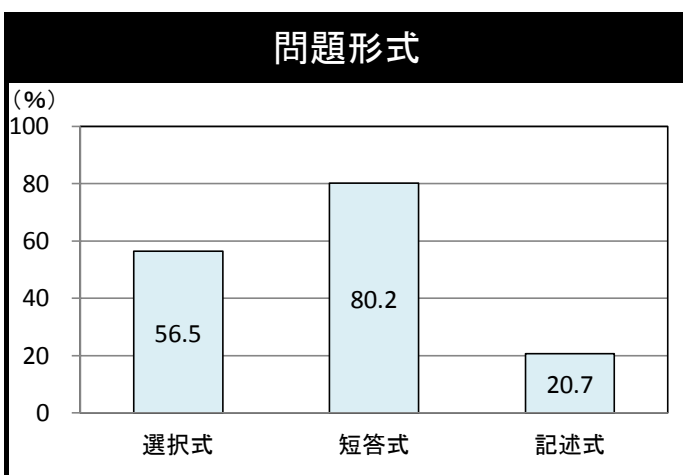
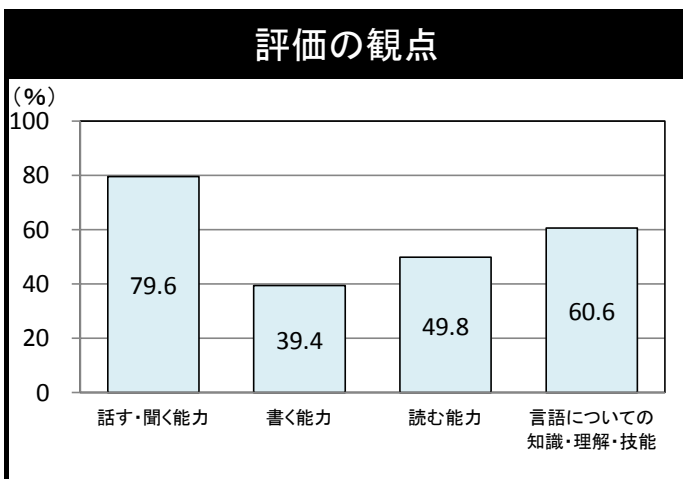
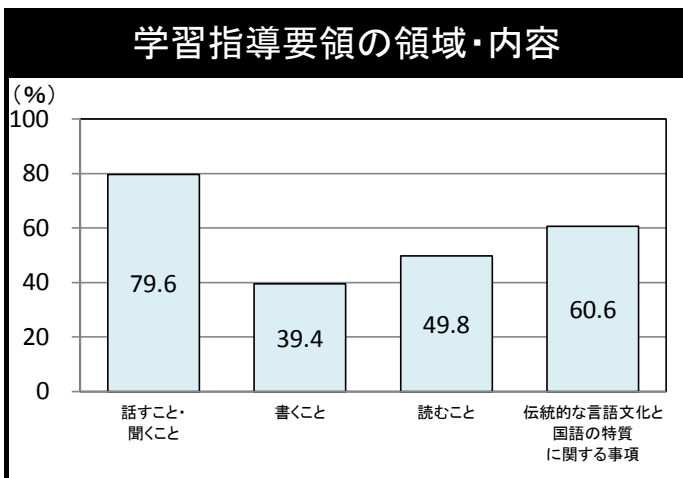
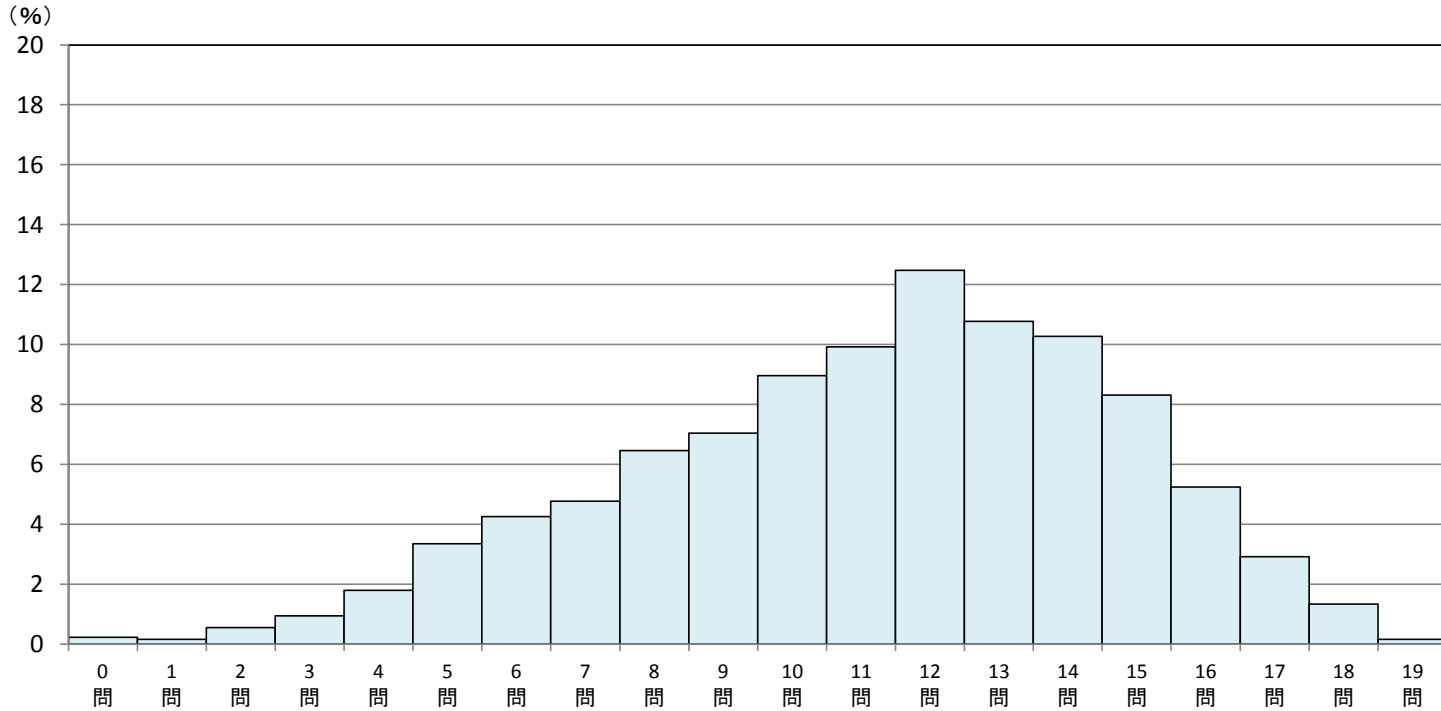
※学習シート等との関連  
 国語学習シート No.4・23・45・66・67  
 国語学習シート活用事例集 P.13～16

中学校第2学年 国語  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,856	11.2 / 19	59.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.2
2問	0.6
3問	0.9
4問	1.8
5問	3.4
6問	4.3
7問	4.8
8問	6.5
9問	7.0
10問	9.0
11問	9.9
12問	12.5
13問	10.8
14問	10.3
15問	8.3
16問	5.3
17問	2.9
18問	1.3
19問	0.2

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



国語の平均正答率は59.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明すること  
[2二 正答率15.8%、無解答率34.6%]

二——線部「上達の道筋」とありますが、本文中で筆者は上達するためにどのようなことが必要であると語っていますか。あなたが今までに体験したことをもとに、その内容を次の条件1から条件3にしたがって説明しなさい。

条件1 あなたが今までに体験したことを具体的に書くこと。  
条件2 本文中で筆者が述べていることが分かるように書くこと。  
条件3 八十文字以上、百字以内で書くこと。

※左の様は、下書きに促すものではありません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

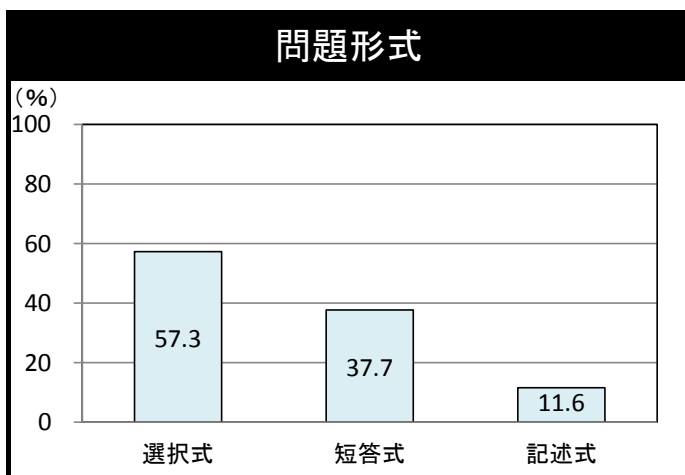
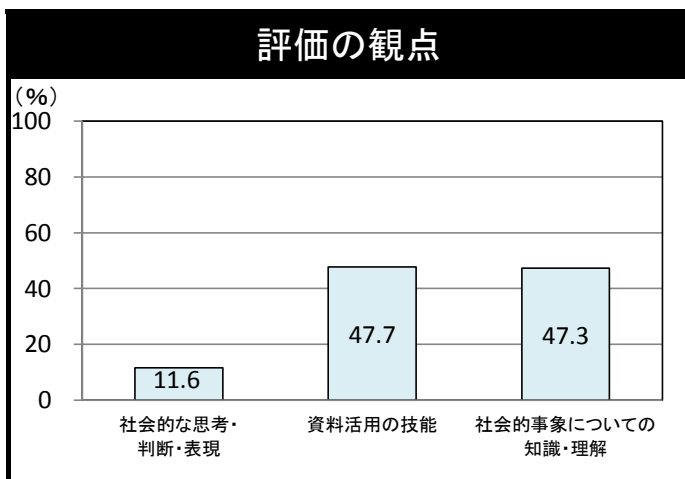
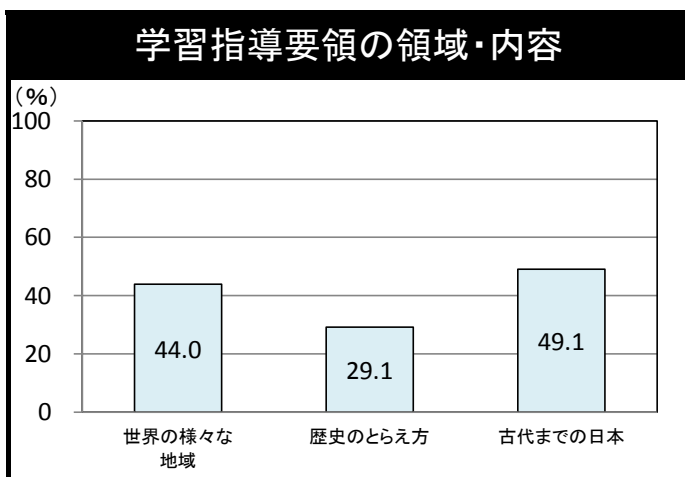
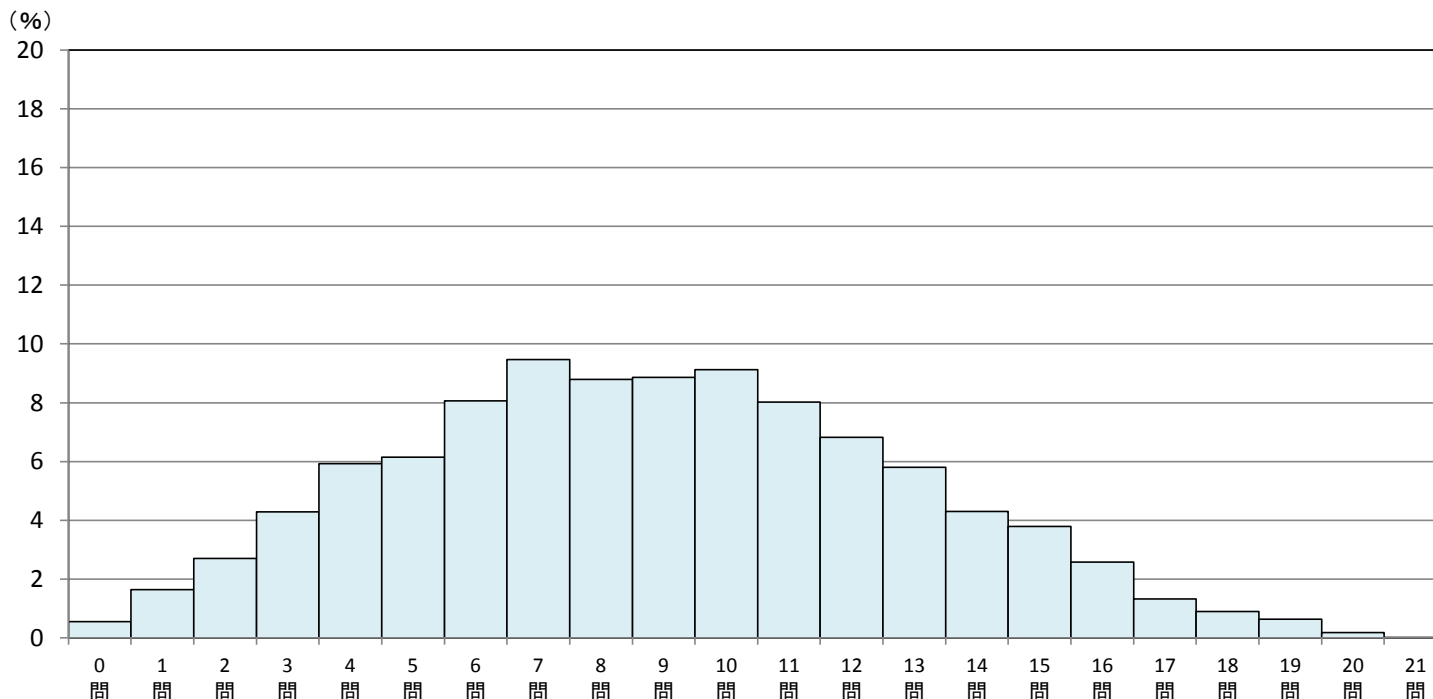
※学習シート等との関連  
国語学習シート No.23・43・45・66・67  
国語学習シート活用事例集 P.13～16

中学校第1学年 社会  
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,876	8.9 / 21	42.4

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.6
2問	2.7
3問	4.3
4問	5.9
5問	6.2
6問	8.1
7問	9.5
8問	8.8
9問	8.9
10問	9.1
11問	8.0
12問	6.8
13問	5.8
14問	4.3
15問	3.8
16問	2.6
17問	1.3
18問	0.9
19問	0.6
20問	0.2
21問	0.0

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



社会の平均正答率は42.4%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・バイオ燃料車の普及を環境保護の取り組みとして捉え、説明すること

[2(3)② 正答率4.3%、無解答率27.4%]

② 大沢さんは、【資料1】から【資料3】を見て、「なぜ、アマゾンの森林が減少し、サトウキビ栽培が増加しているのか」と疑問をもち、ブラジルの環境問題について、ノートにまとめています。次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

【資料1】アマゾン地域の森林面積の減少  
【資料2】サトウキビの生産量と作付面積の推移  
【資料3】ブラジルの森林地帯の土地利用の様子

【ノートの一部】  
ブラジルの環境問題  
「なぜ、アマゾンの森林が減少し、サトウキビ栽培が増加しているのか。」  
・世界の熱帯林のおよそ3分の1は、アマゾン川流域などに集中している。  
(森林減少の原因)  
・鉱山の開発にともなう工場の建設や【A】の建設  
・サトウキビ畑などの農地の開発  
・エタノール工場の建設  
(バイオ燃料車の普及)  
・サトウキビからバイオエタノールを生産し、ガソリンの代替燃料として利用している。  
・2007年には、【B】は200億リットルを超え、【C】は70%を超えている。  
(森林の減少の影響)  
・熱帯林が大幅に失われると、二酸化炭素の吸収量が減少し、地球温暖化が進むのではないかと考えられる。  
(バイオ燃料の生産と環境への影響)  
・バイオエタノールは、植物を原料とするため、バイオ燃料車の普及は、【D】。

(3) 近年ブラジルにおいて、5ページの【資料2】のようにサトウキビの生産量は、増加しています。大沢さんは、次の【図】のようにサトウキビがバイオエタノールとして利用されていることを知り、そのことについて調べようとしています。次の①、②の各問に答えなさい。

【図】  
吸収 → 植物 → 光合成 → CO<sub>2</sub> → 大気中のCO<sub>2</sub> → 吸収  
植物 → エタノール → 燃料 → 車 → CO<sub>2</sub> → 大気中のCO<sub>2</sub> → 吸収

【バイオエタノールの説明】  
○バイオエタノールとは、バイオ燃料の一種で、サトウキビなどの植物原料からつくられるアルコール燃料のこと

② バイオ燃料車の普及は、環境保護の取り組みの一つとして、注目されています。大沢さんは、上の【図】と6ページの【ノートの一部】の中の(森林の減少の影響)をもとに(バイオ燃料の生産と環境への影響)について考えています。書き出しに続けて、【D】に当てはまる内容を書きなさい。

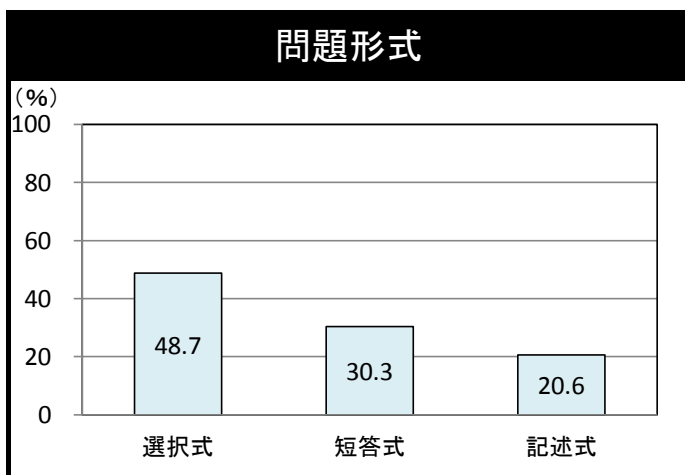
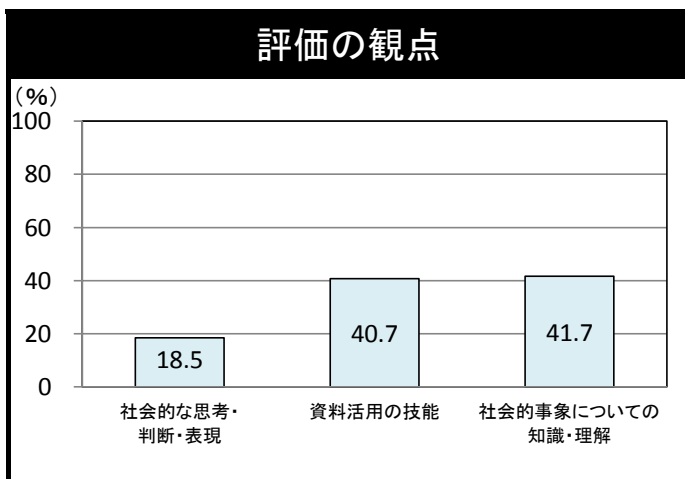
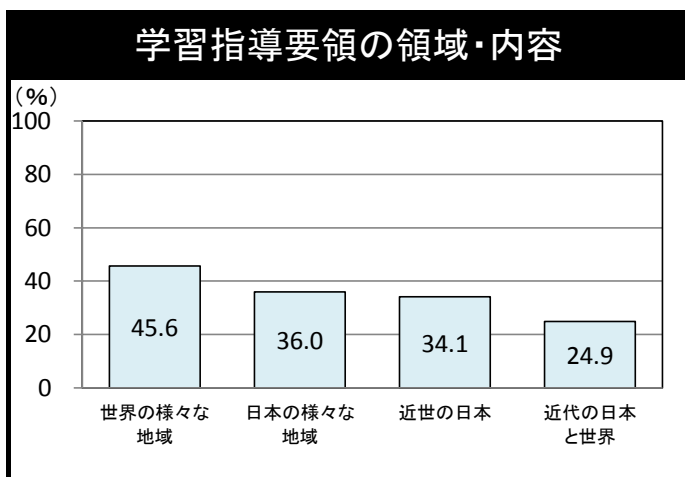
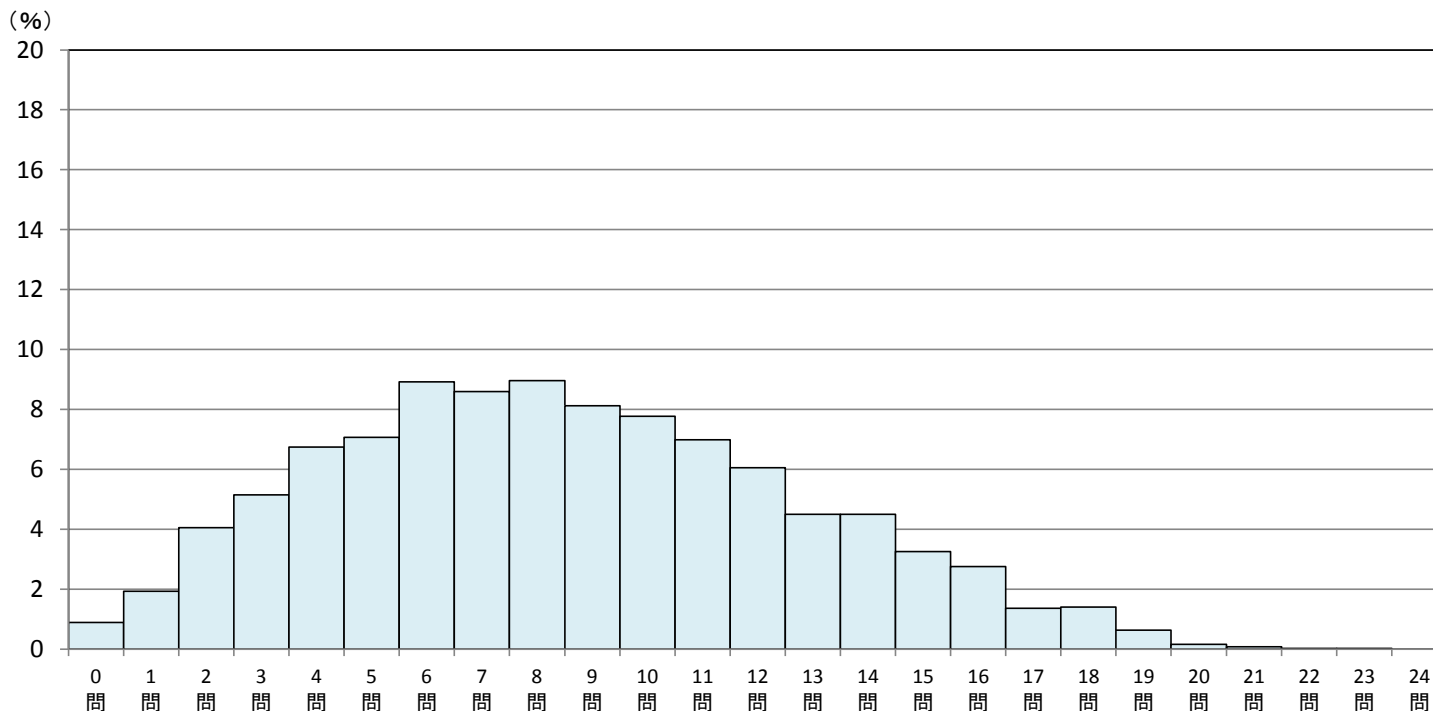


【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,850	8.5 / 24	35.6

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	1.9
2問	4.1
3問	5.2
4問	6.7
5問	7.1
6問	8.9
7問	8.6
8問	9.0
9問	8.1
10問	7.8
11問	7.0
12問	6.1
13問	4.5
14問	4.5
15問	3.3
16問	2.8
17問	1.4
18問	1.4
19問	0.6
20問	0.2
21問	0.1
22問	0.0
23問	0.0
24問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



社会の平均正答率は35.6%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・明治政府が目指した国づくりについて、江戸時代との違いに着目して、説明すること

〔 6(4)Y 正答率10.2%、無解答率38.1%  
Z 正答率18.7%、無解答率36.3% 〕

6 中野さんは、新聞記事で富岡製糸場が世界遺産に登録されたことに注目し、年表中の明治初期の日本や世界のおもな出来事をもとに、「明治政府は、明治維新の諸改革によって、どのような政治を進めたかったのか」を調べています。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

【資料1】富岡製糸場  
[写真提供: 国立国会図書館]

西暦	日本の出来事	世界の出来事
1765		ワットの蒸気機関改良 X が起こる
1840		アヘン戦争が起こる
1841	天保の改革が始まる	A ↓
1853	ペリーの浦賀来航	
1854	日米和親条約	インドの大反乱が起こる
1857		アメリカ南北戦争が起こる
1858	日米修好通商条約	
1861		
1868	五箇条の御誓文	
1871	岩倉使節団の派遣	
1872	①学制公布、富岡製糸場が設立される	
1873	②徴兵令、③地租改正条約	

(4) 明治政府は、江戸幕府が欧米諸国との間に結んだ不平等条約を改正するために、21ページの【資料4】のような諸改革などを行いました。中野さんは、明治政府が目指した国づくりについて、下のようにならまとめました。【まとめ】の中のY、Zに当てはまる言葉を書きなさい。なお、Zには、欧米諸国とどのような関係を築きたかったのかが入ります。

【まとめ】

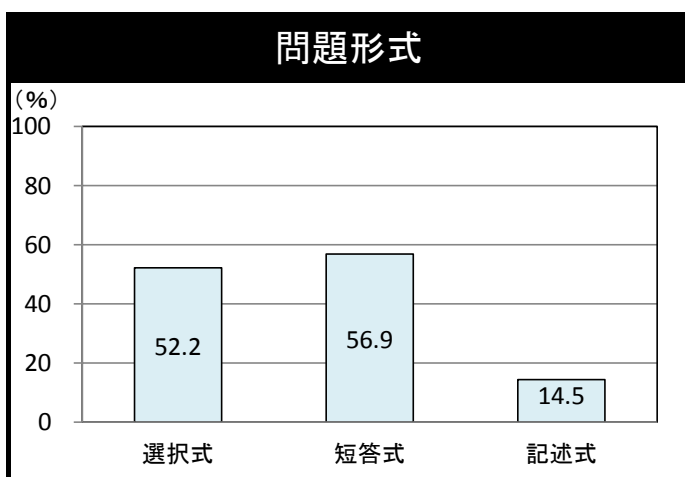
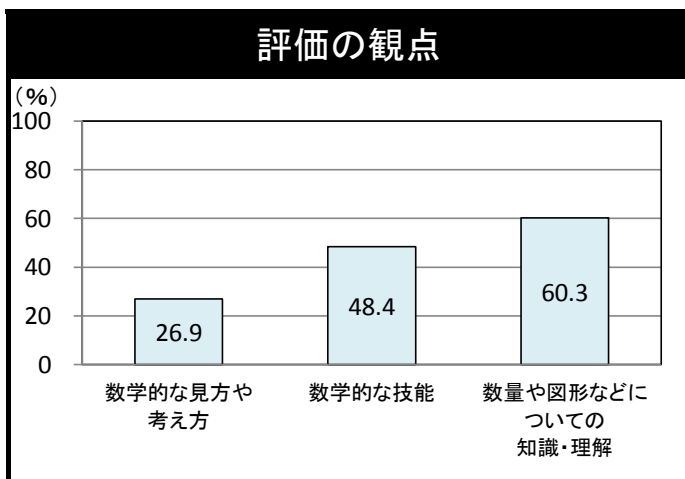
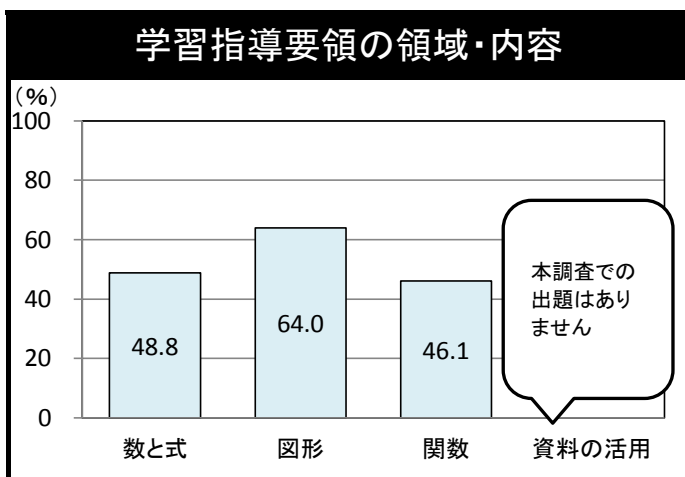
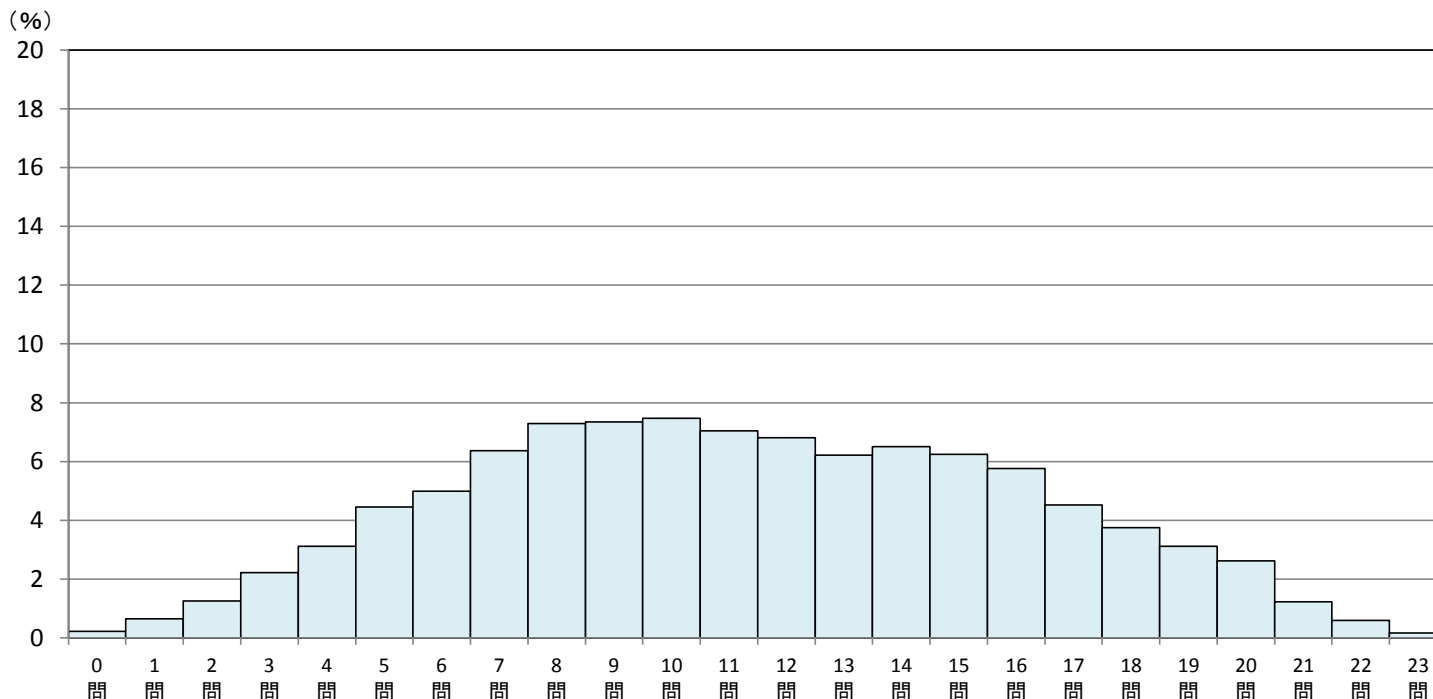
明治政府は、富岡製糸場の設立と学制、徴兵令、地租改正などの改革を進め、江戸時代における欧米諸国からの遅れを取り戻すために、Yを進めた。

明治政府がこのような諸改革を行ったのは、江戸時代に、日本と欧米諸国との間に結ばれた不平等条約を改正し、欧米諸国とZを築くことが一つの目的であった。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,871	11.3 / 23	49.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.7
2問	1.3
3問	2.2
4問	3.1
5問	4.5
6問	5.0
7問	6.4
8問	7.3
9問	7.3
10問	7.5
11問	7.0
12問	6.8
13問	6.2
14問	6.5
15問	6.2
16問	5.8
17問	4.5
18問	3.8
19問	3.1
20問	2.6
21問	1.2
22問	0.6
23問	0.2

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



数学の平均正答率は49.3%で、例えば次のような課題が見られた。

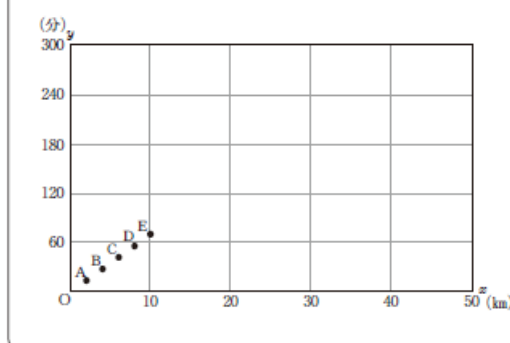
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

[7(2) 正答率14.0%、無解答率18.0%]

7 まさしさんは、第3回高知龍馬マラソンで42.195 kmを完走するために、毎日、1周1 kmのコースを10周走り、その時間を記録しています。下の表とグラフは、ある日の記録を、 $x$  km 走ったときの時間を  $y$  分としてまとめたものです。まさしさんは、この結果をもとにゴールするまでにかかる時間を予想することになりました。

ある日の記録

走った道のり(km)	2	4	6	8	10
かかった時間	14分00秒	27分54秒	41分58秒	56分04秒	70分00秒



(2) まさしさんがゴールするまでにかかる時間は、下のア、イのどちらを用いても求めることができます。下のア、イのどちらか1つを選び、それを用いてゴールするまでにかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際にその時間を求める必要はありません。

ア 走った道のりとかかった時間の関係を表すすべての点を、原点を通る直線とみなしたグラフ

イ 走った道のりとかかった時間の関係を表した式  $y=7x$

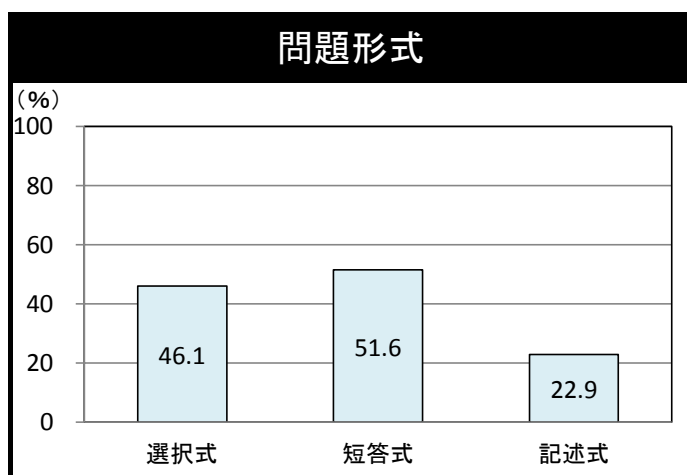
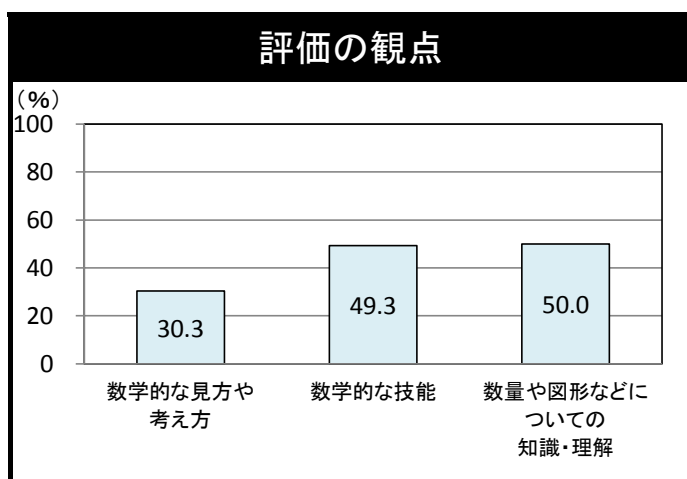
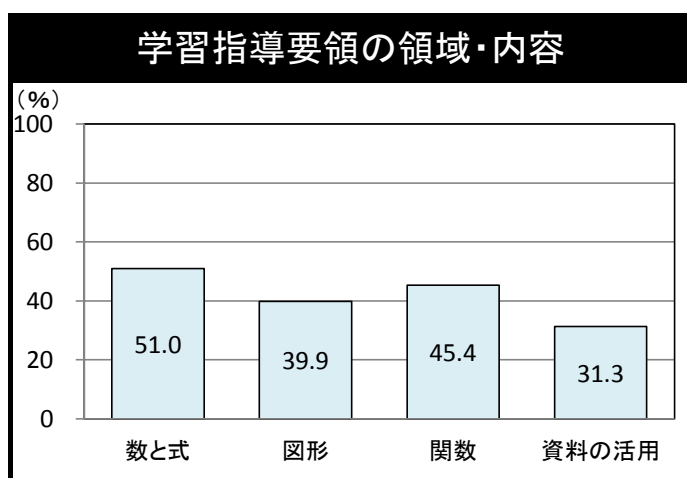
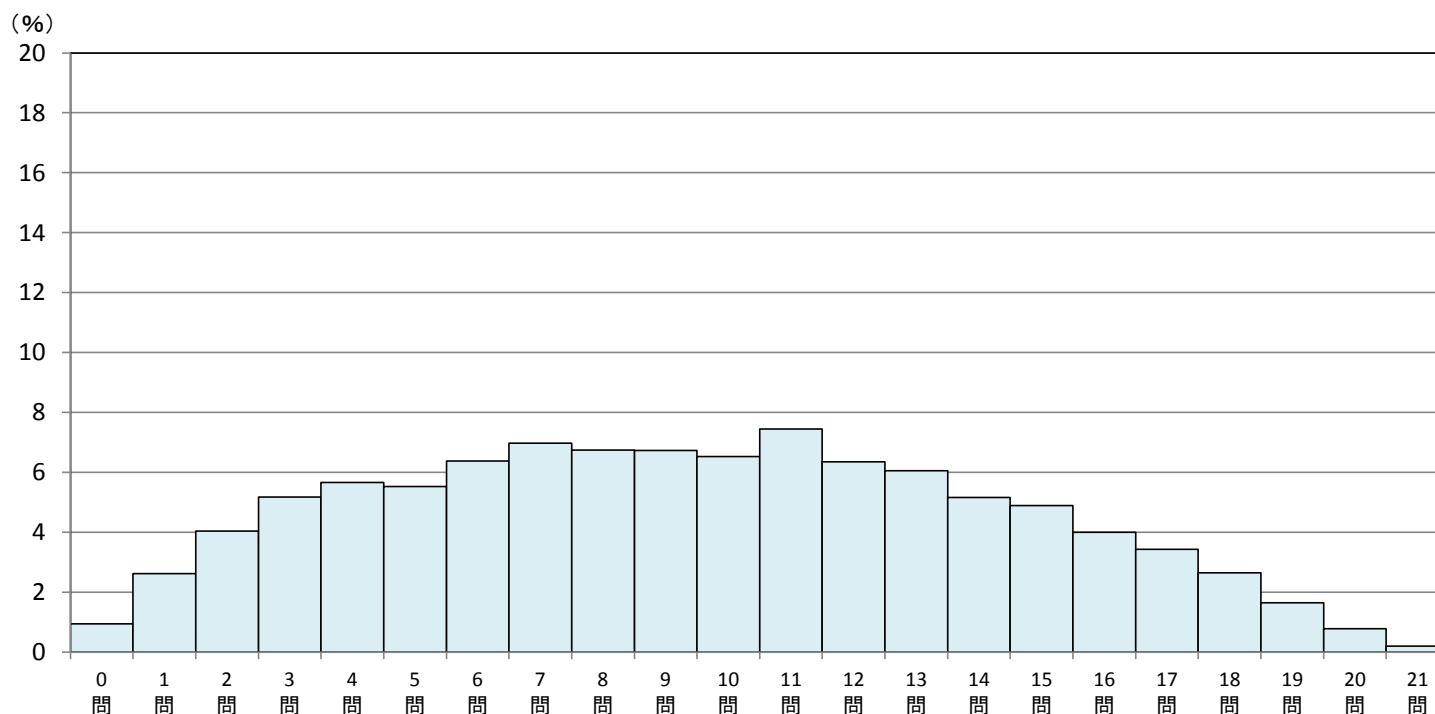
※学習シート等との関連

全国学力・学習状況調査B問題集  
第1学年C数量関係(20年度)3

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,843	9.5 / 21	45.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	2.6
2問	4.0
3問	5.2
4問	5.7
5問	5.5
6問	6.4
7問	7.0
8問	6.8
9問	6.7
10問	6.5
11問	7.5
12問	6.4
13問	6.0
14問	5.2
15問	4.9
16問	4.0
17問	3.4
18問	2.6
19問	1.7
20問	0.8
21問	0.2

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



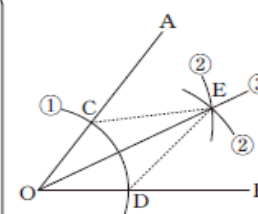
数学の平均正答率は45.1%で、例えば次のような課題が見られた。

・作図が正しいことを、三角形の合同条件を基にして証明すること

[5(5) 正答率14.2%、無解答率45.3%]

(5) 次のようにして、 $\angle AOB$ の二等分線の作図をしました。

- ① 点Oを中心として適当な半径の円をかき、辺OA、OBとの交点をそれぞれC、Dとする。
- ② 2点C、Dをそれぞれ中心として、等しい半径の円をかき、その交点をEとする。
- ③ 直線OEをひく。



このとき、直線OEによって、 $\angle AOB$ が二等分されていることを証明しなさい。

※学習シート等との関連

2年数学シート No.21

高知県数学思考力問題集

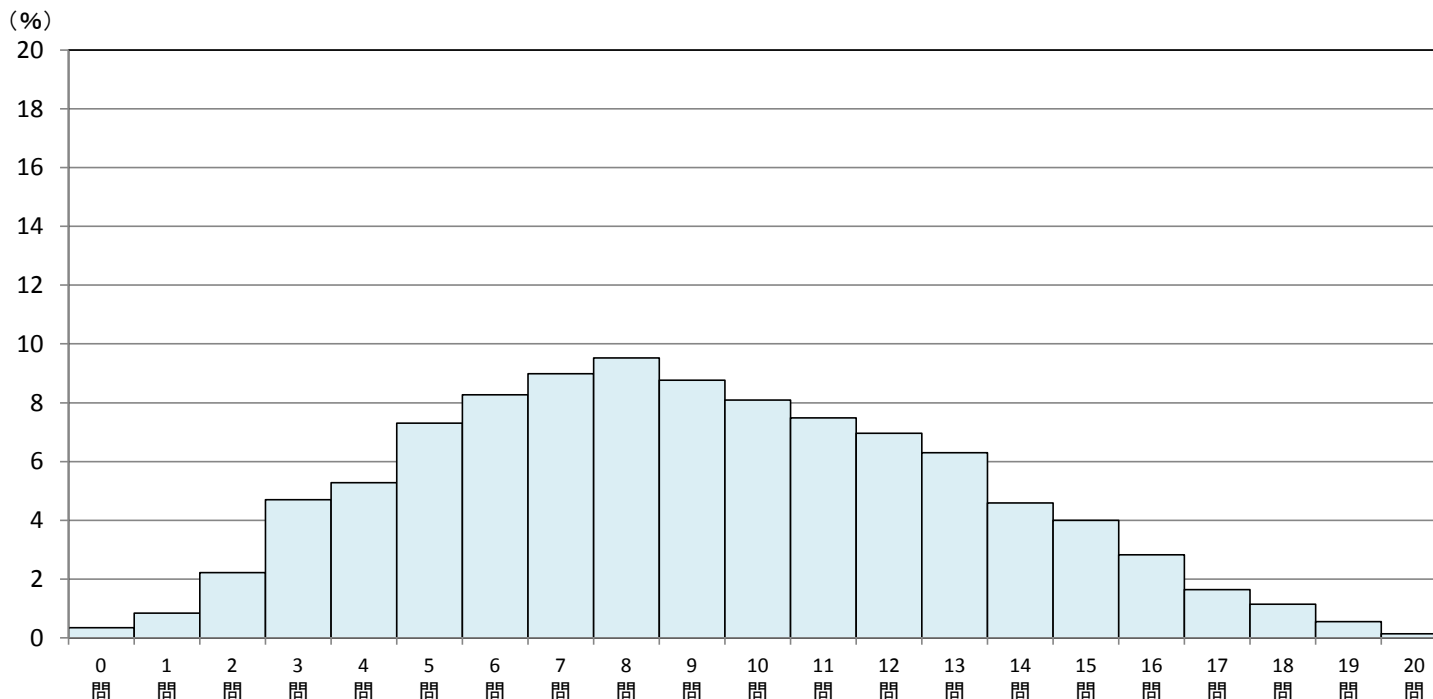
◆図形の性質を調べよう(2-4-B)

「高知県数学思考力問題集」指導事例集

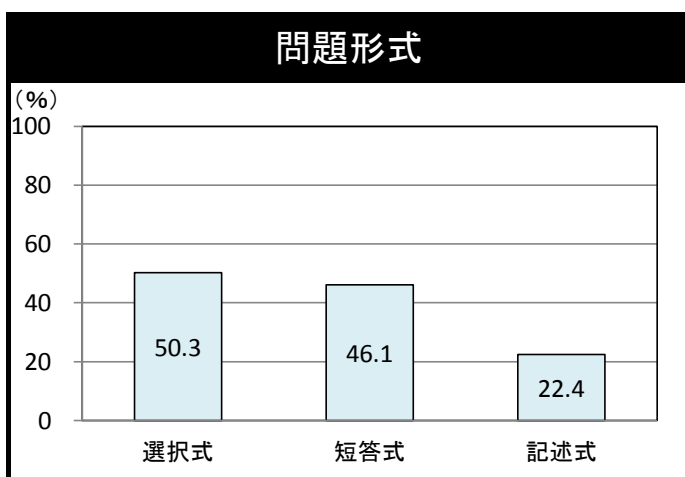
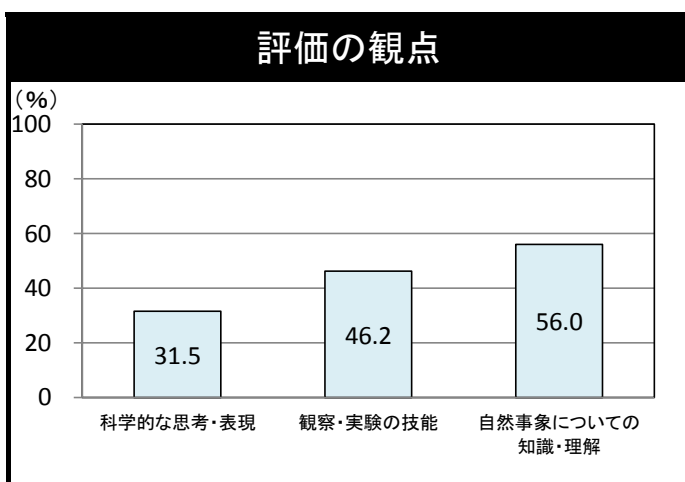
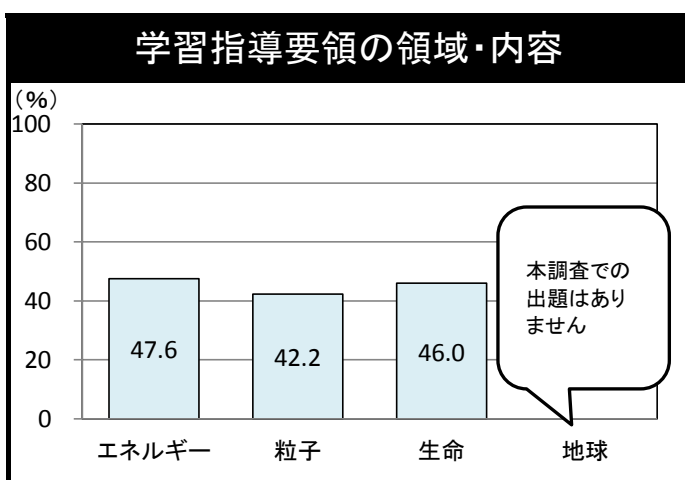
(図形の性質を調べよう) 3月末配付予定

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,872	9.1 / 20	45.3

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.8
2問	2.2
3問	4.7
4問	5.3
5問	7.3
6問	8.3
7問	9.0
8問	9.5
9問	8.8
10問	8.1
11問	7.5
12問	7.0
13問	6.3
14問	4.6
15問	4.0
16問	2.8
17問	1.6
18問	1.1
19問	0.6
20問	0.1



理科の平均正答率は45.3%で、例えば次のような課題が見られた。

・植物の呼吸を確かめる実験の条件を見いだすこと

【3(5) 正答率42.5%、無解答率1.8%】

3 美紀さんたちは、植物のはたらきについて学習をしています。授業で先生が示した右のポスターを見た美紀さんは、小学校で学習した植物のはたらきについて、次のことを思い出しました。

【小学校で学習した植物のはたらき】

- ①植物は、葉に日光が当たると光合成をし、デンプンをつくる。
- ②植物は、光合成をすると、二酸化炭素を取り入れて酸素を出す。
- ③植物は呼吸をし、酸素を取り入れて二酸化炭素を出す。



次の(1)から(5)までの各問いに答えなさい。

美紀さんたちは、小学校でも学習した光合成について、次のように実験1を行いました。

実験1

- I 水を薄層させて、水中に溶けている空気を追い出した後、密閉して室温まで冷ます。
- II 大型の試験管Aと試験管BにIの水を入れ、青色のBTB溶液を加え、息を吹き込みうすい緑色にする。
- III 図1のように、試験管Aにはオオカナダモを入れ、試験管Aと試験管Bにゴムせんをする。
- IV 試験管Aと試験管Bを日光が当たる場所に3時間置き、BTB溶液の色を調べる。



【結果】

試験管	A	B
BTB溶液の色	うすい青色	うすい緑色

(5) 実験1または、実験2のどちらの条件を日光が当たらない場所にすることで、植物が呼吸をしていることがわかりますか。条件を変える実験とその結果の組み合わせとして最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

	条件を変える実験	結果
ア	実験1	試験管Aと試験管Bの中のBTB溶液の色がともに変化しない。
イ	実験1	試験管Aの中のBTB溶液の色がうすい黄色になり、試験管BのBTB溶液の色はうすい緑色のままで変化しない。
ウ	実験2	試験管Cと試験管D両方のオオカナダモの葉の色がヨウ素液により変化しない。
エ	実験2	試験管Cのオオカナダモの葉の色はヨウ素液により変化しないが、試験管Dのオオカナダモの葉の色は、ヨウ素液により青紫色に変化する。

※学習シート等との関連

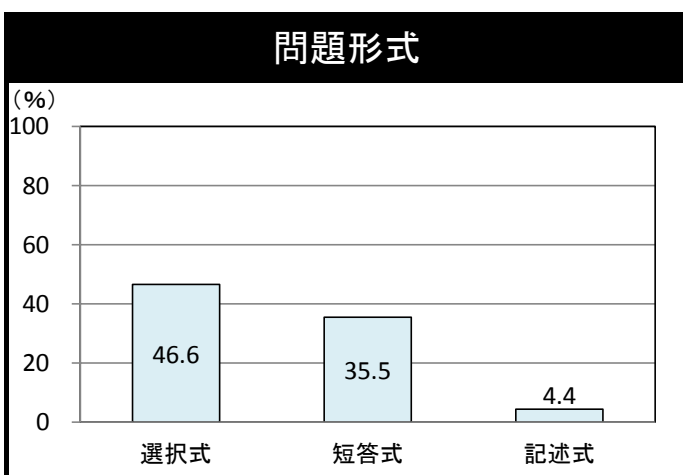
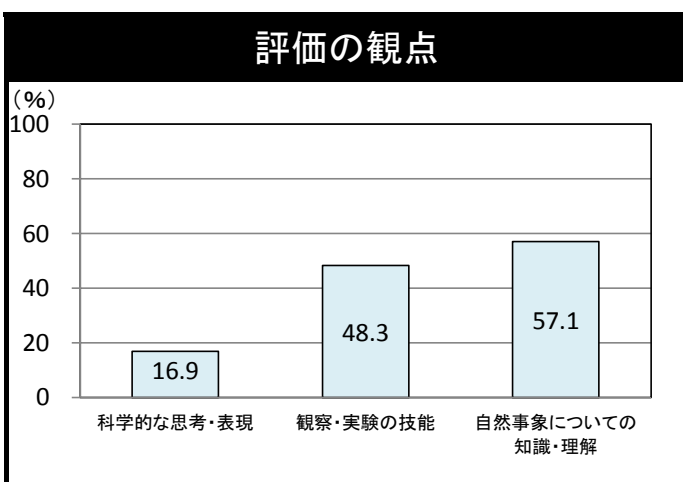
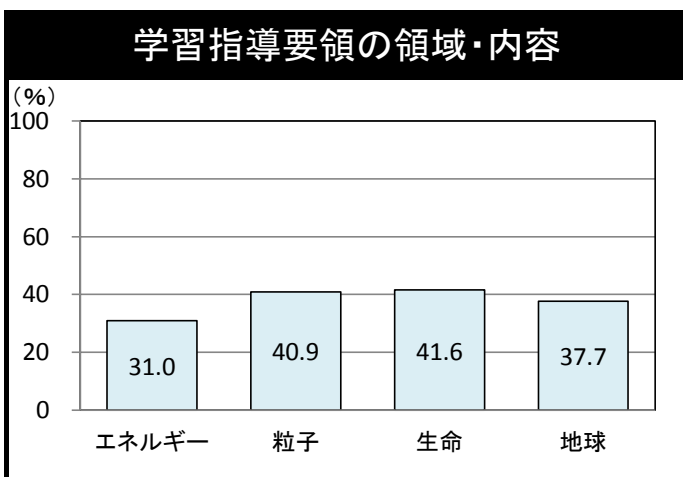
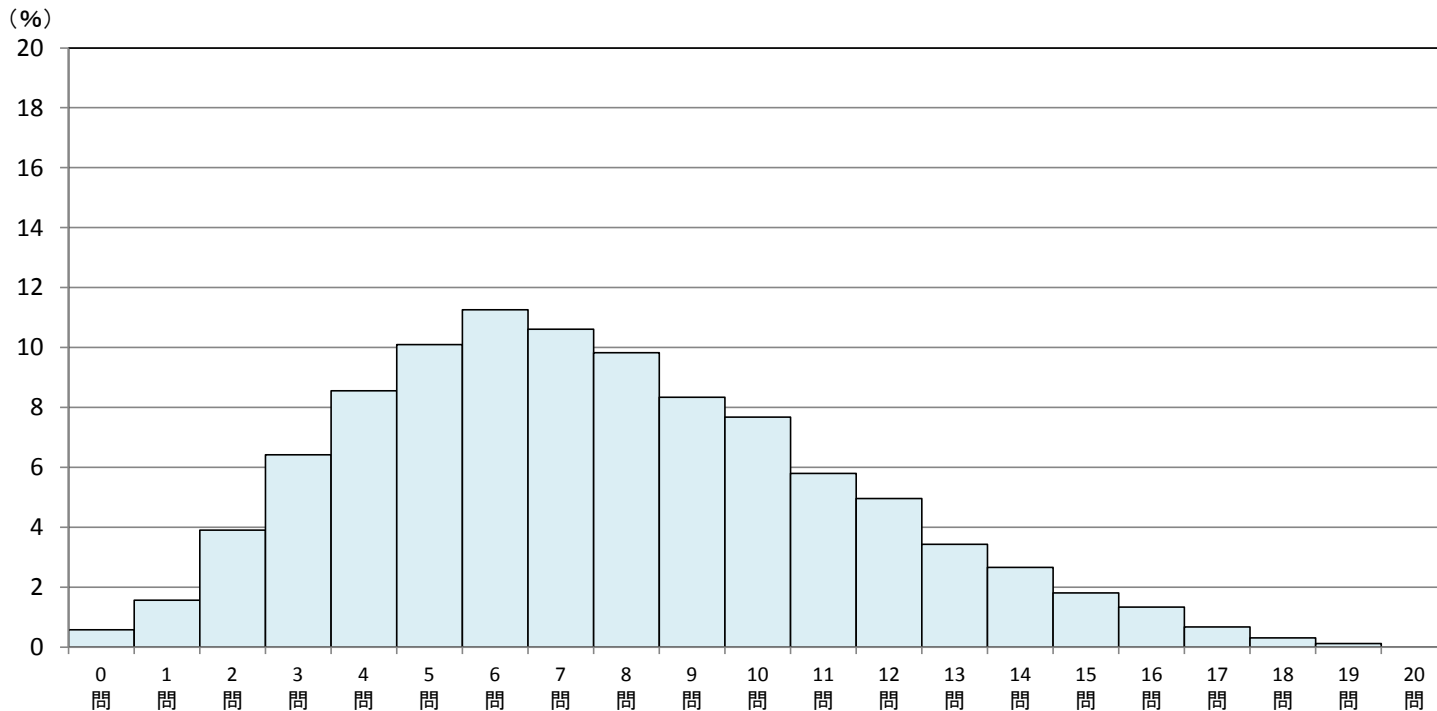
高知県理科思考力問題集 中1-07

中学校第2学年 理科  
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,841	7.6 / 20	38.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.6
2問	3.9
3問	6.4
4問	8.6
5問	10.1
6問	11.3
7問	10.6
8問	9.8
9問	8.3
10問	7.7
11問	5.8
12問	5.0
13問	3.4
14問	2.7
15問	1.8
16問	1.3
17問	0.7
18問	0.3
19問	0.1
20問	0.0

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



理科の平均正答率は38.0%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して説明すること

[1(5) 正答率2.9%、無解答率5.1%]

**観察**

I 露頭aを観察し、スケッチする(図2)。  
II 露頭aからeについて、地層の重なり方を表す(図3)。

**【結果】**

○露頭aの砂岩層にはアサリの化石が含まれていた。  
○露頭aの①石灰岩層にはサンゴの化石が含まれていた。  
○露頭aからeの重なり方について、共通する部分があった。

**【考察】**

○砂岩層にアサリの化石が含まれていたことから、アサリはCと考えられるので、この地層が堆積した当時、この場所はDだったといえる。  
○露頭aと露頭b、露頭bと露頭dなどの地層を比べると、重なり方が同じ地層が見られることから②一定の方向に傾いていることがわかる。  
○これらの地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期が少なくともE回あったと考えられる。

(5) 露頭aからeの地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期の回数は、少なくとも何回と考えられますか。最も適切なものを下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、回数をそのように考えた理由を書きなさい。

ア 1回    イ 2回    ウ 6回    エ 7回

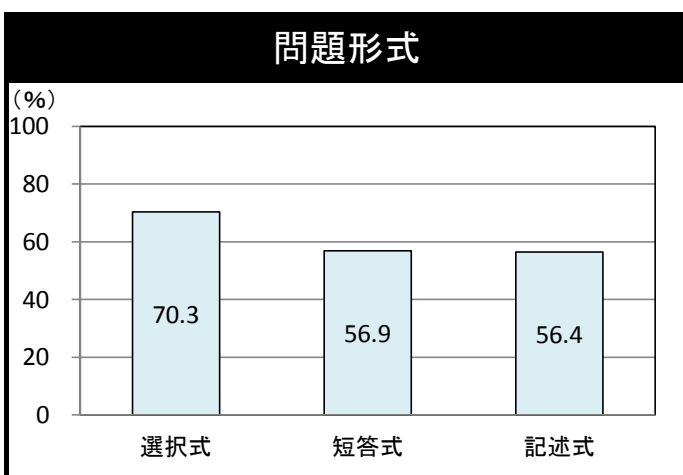
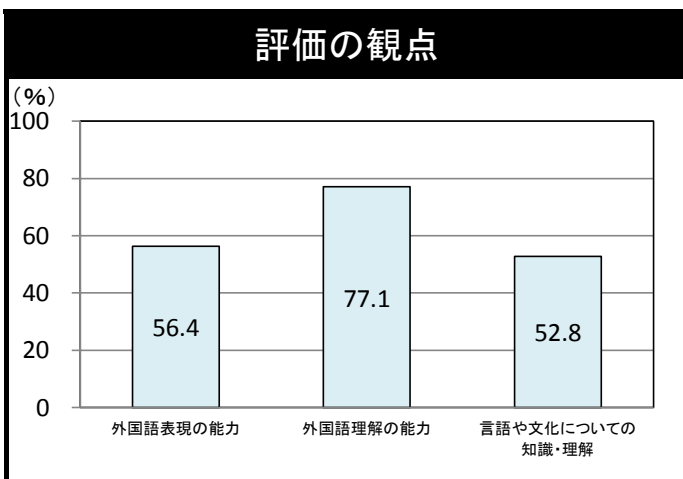
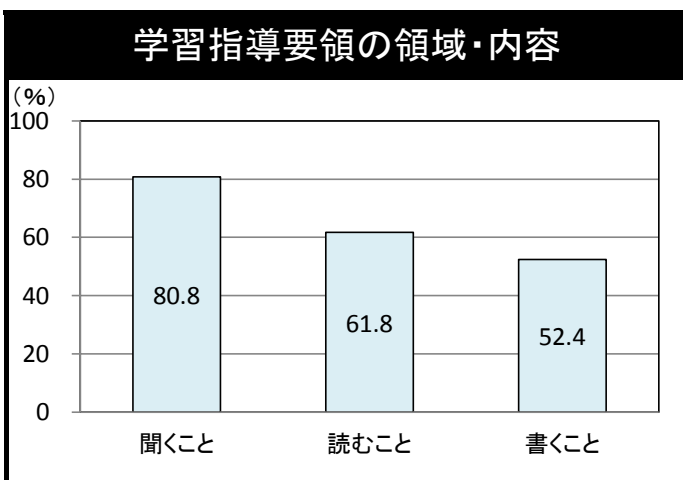
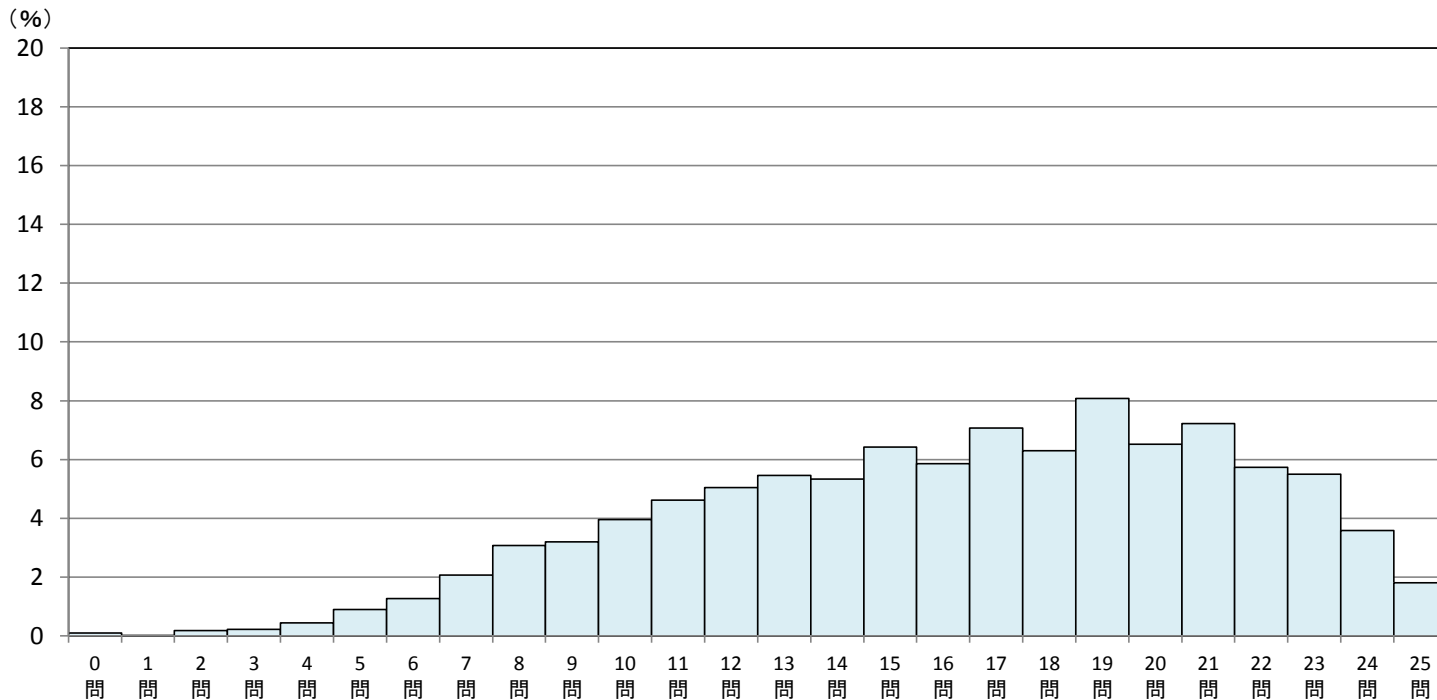
※学習シート等との関連  
高知県理科思考力問題集 中1-10

【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,877	16.2 / 25	64.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.2
3問	0.2
4問	0.5
5問	0.9
6問	1.3
7問	2.1
8問	3.1
9問	3.2
10問	4.0
11問	4.6
12問	5.0
13問	5.5
14問	5.3
15問	6.4
16問	5.9
17問	7.1
18問	6.3
19問	8.1
20問	6.5
21問	7.2
22問	5.7
23問	5.5
24問	3.6
25問	1.8

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



外国語(英語)の平均正答率は64.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料に関連させて、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

[12③ 正答率52.0%、無解答率14.6%]

12 清水さんと西田さんは、新しく来たALTのジョン(John)先生に、英語で自己紹介をすることになりました。下は、清水さんと西田さんの【自己紹介メモ】です。あなたは、2人のうち、どちらか1人を選び、その人自身になったつもりで自己紹介をしたら、どのように自己紹介をしますか。解答用紙にある「選んだ人」の2人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その選んだ人について【自己紹介メモ】の①から③について、それぞれ英語で書き、【自己紹介文の原稿】を完成させなさい。

【自己紹介メモ】

清水 三郎  
Shimizu Saburo

- ・高知出身
- ・音楽が好き・・・・・・・・①
- ・ピアノを弾く・・・・・・・・②
- ・①、②に関連したことを、ALTに質問する(例えば、音楽やピアノに関連して質問する英文)・・・・・・・・③

西田 仁美  
Nishida Hitomi

- ・高知出身
- ・動物が好き・・・・・・・・①
- ・猫を3匹飼っている・・・・②
- ・①、②に関連したことを、ALTに質問する(例えば、動物や猫を飼うことに関連して質問する英文)・・・・③

【自己紹介文の原稿】

選んだ人	清水 三郎(Shimizu Saburo)・西田 仁美(Nishida Hitomi)
Hello. I'm (Shimizu Saburo または Nishida Hitomi). I'm from Kochi.	
①	_____
②	_____
③	_____

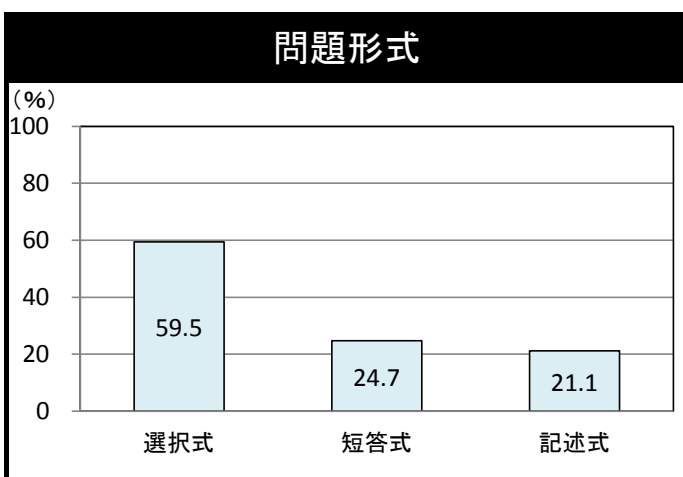
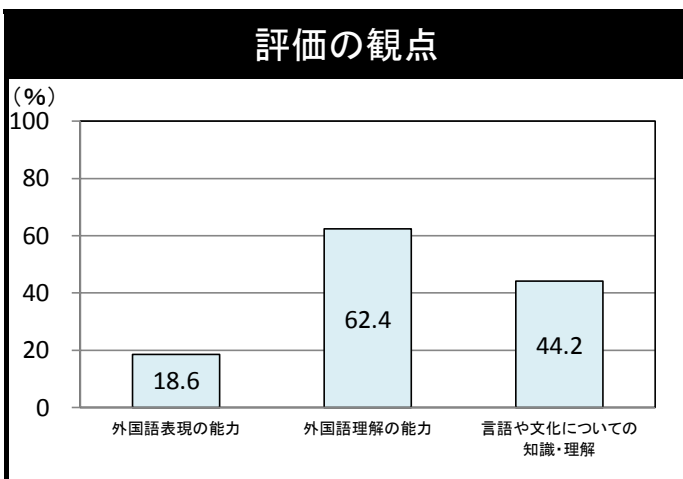
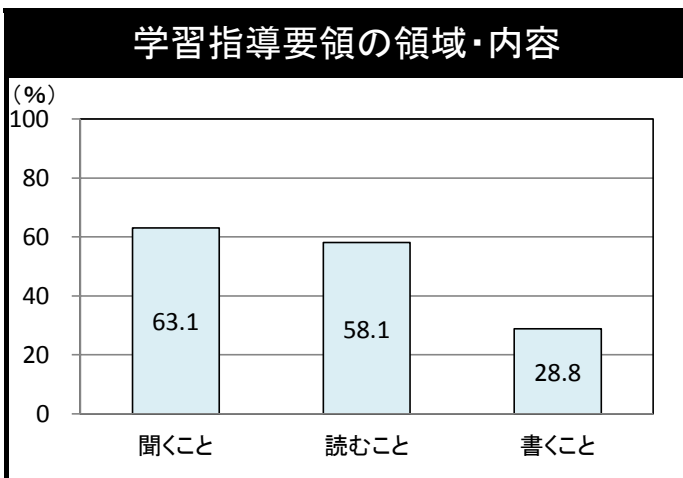
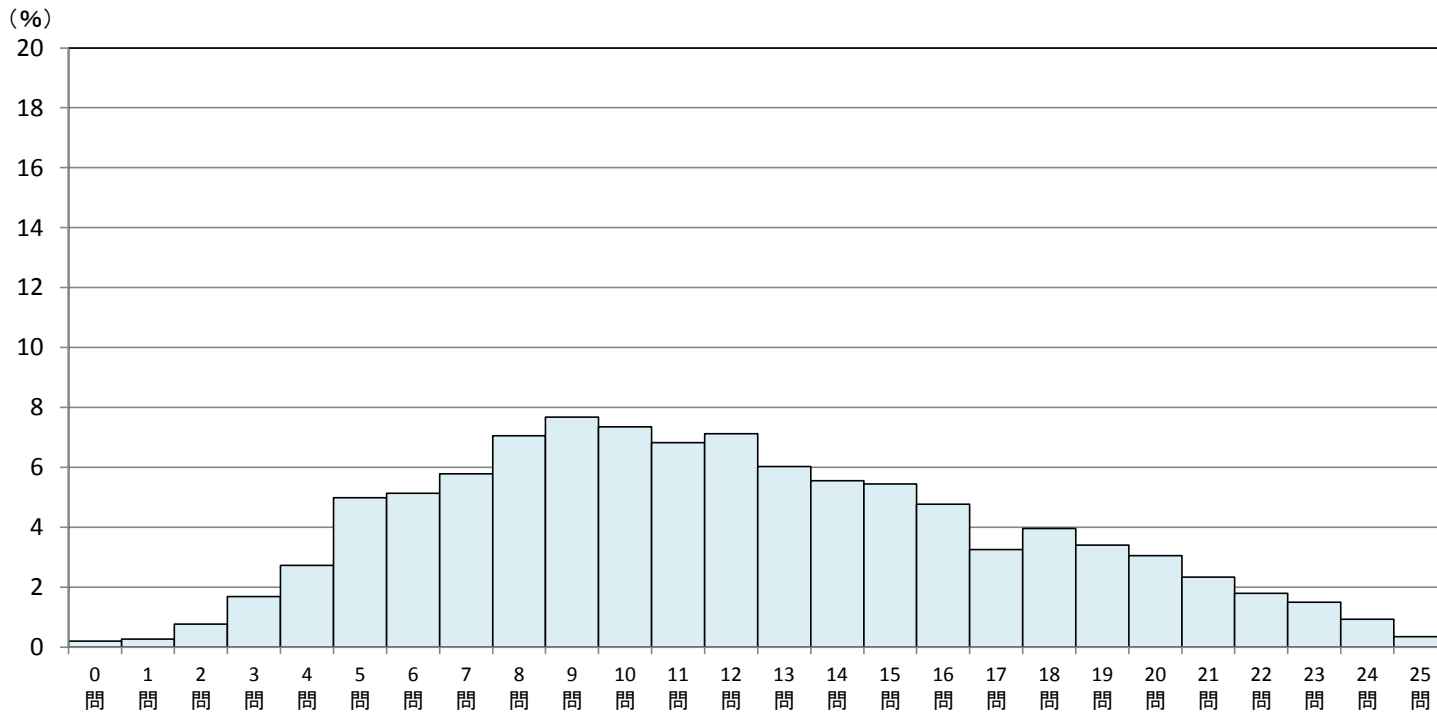
※学習シート等との関連  
英語ライティングシート  
Ⅲテーマ作文編1年生P.225～242

【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,845	11.9 / 25	47.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.8
3問	1.7
4問	2.7
5問	5.0
6問	5.1
7問	5.8
8問	7.1
9問	7.7
10問	7.3
11問	6.8
12問	7.1
13問	6.0
14問	5.6
15問	5.4
16問	4.8
17問	3.3
18問	4.0
19問	3.4
20問	3.1
21問	2.3
22問	1.8
23問	1.5
24問	0.9
25問	0.4

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



外国語(英語)の平均正答率は47.8%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

- 11(1) 正答率30.3%、無解答率23.7%
- (2) 正答率17.2%、無解答率24.8%
- (3) 正答率13.5%、無解答率33.7%

11 一樹(Kazuki)・久美(Kumi)・健太(Kenta)の3人は、英語の授業で、将来つきたい職業について発表することになりました。あなたが、3人のうちの1人としたら、どのような原稿を作成しますか。解答用紙にある「選んだ人」の3人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その人になったつもりで【つきたい職業とその理由】の(1)から(3)についてそれぞれ英語で書き、【発表原稿】を完成させなさい。

【発表原稿】

将来つきたい職業について、発表しよう！

選んだ人	一樹(Kazuki)・久美(Kumi)・健太(Kenta) <small>※選んだ人を○で囲みなさい。</small>
------	--

Hello, everyone.

I'll talk about my dream.

(1) \_\_\_\_\_

Do you know why?

(2) \_\_\_\_\_

(3) In the future, \_\_\_\_\_

That is my dream.

Thank you.

【つきたい職業とその理由】

一樹(Kazuki)

- (1) 夢………ピアニスト(a pianist)になること
- (2) 理由1…ピアノを練習することが好き
- (3) 理由2…美しい音楽を演奏したい

久美(Kumi)

- (1) 夢………医者(a doctor)になること
- (2) 理由1…理科を勉強することが好き
- (3) 理由2…多くの人たちを助きたい

健太(Kenta)

- (1) 夢………料理人(a cook)になること
- (2) 理由1…日本料理を作ることが好き
- (3) 理由2…自分の店をもちたい

※学習シート等との関連  
英語ライティングシート  
Ⅲテーマ作文編2年生P.277～290

## これまでの調査結果との比較

### 成果

○国語における文章の敬体と常体の違い、接続語の役割の理解や算数・数学における作図する方法の理解など、基礎的・基本的な知識や技能に関する問題について、改善傾向にある。

### 課題

●文章の内容を正確に捉えること、また、複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには引き続き課題が見られる。

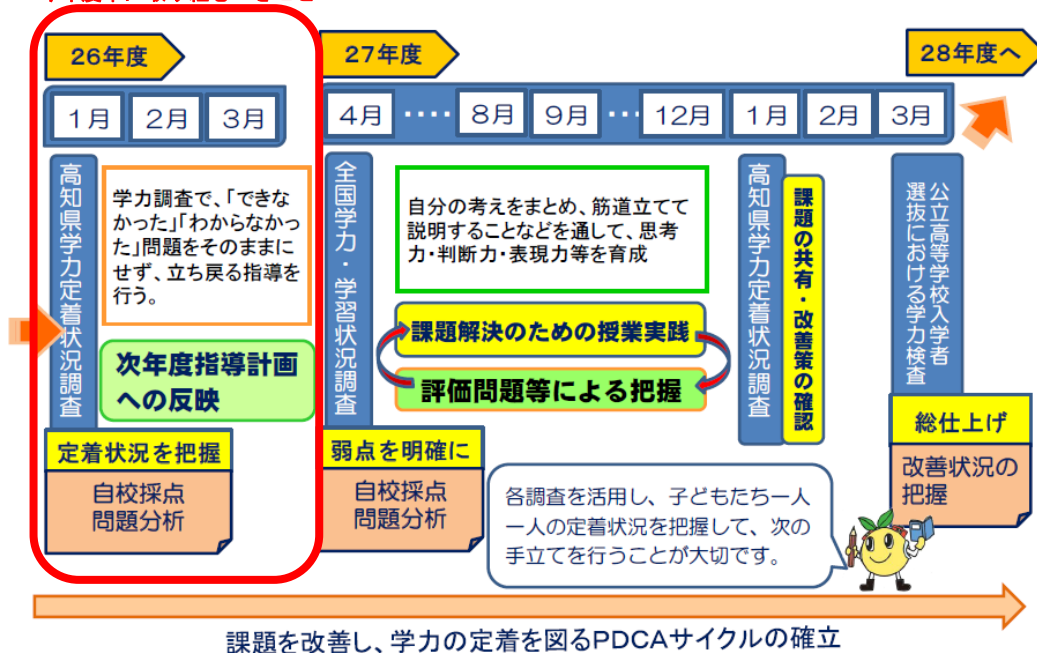
## 各教科における課題への対応→改善状況の把握

本調査は、実施後すぐに各学校で採点することで、児童生徒の解答状況から、学習内容の定着を捉えることができます。定着が十分でない場合は、年度内に個別指導や補充学習等の適切な指導を行い、課題に対して迅速に対応し、年度内に補完してください。

また、各教科で1月～3月に取り組んだ改善策の効果を評価問題や定期テスト等で検証し、次年度の「学校経営計画」に基づく取り組みに反映させてください。

### 【調査を活用した検証改善サイクルの確立】

今年度中に取り組むべきこと



次ページの数学科における実践例を参考に、短期PDCAサイクルを充実させましょう。

### 本年度から導入した期待正答率

本調査における各設問は、学習指導要領を踏まえ、すべての児童生徒に身に付けさせたい指導事項を問うものです。その内容、問題形式、これまでの学力調査の結果等をもとに、達成することが期待される割合を期待正答率として示していますので、分析の際に活用してください。



### 経年結果分析



本調査も3回目の実施となり、全国学力・学習状況調査と併せて活用することにより、児童生徒の学力をきめ細かく分析し、改善していく仕組みが整ってきています。

各学校においては、同一児童生徒の学力調査結果の伸びや学力調査における同様の問題の経年変化などを分析することにより、この仕組みを一層効果的に機能させ、今後の学力向上対策を充実させてください。



## 調査結果の分析を基に、学習指導の改善・充実を図るために

### 数学科における実践例（1月9日調査実施後～3月末までに取り組むべきこと）

<b>取り組みの検証</b>	<p>I 自校採点による解答状況の把握</p>	<p>◇集計ファイルを活用し、設問ごとの状況を把握する。</p>
	<p>II 課題の焦点化 (指導による強み・弱みの分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 正答率が高かった問題の分析</li> <li><input type="checkbox"/> 正答率が低かった問題の分析</li> <li><input type="checkbox"/> 高知県学力定着状況調査と全国学力・学習状況調査を併せて分析</li> </ul>	<p>○成果：計算技能においては、数学シート、単元テスト等の活用で定着が見られた。</p> <p>▲課題：記述式問題については正答率が低く、無解答率が高い。全国調査と同様に、「方法の説明」「理由の説明」に課題があり、論理的に記述する力が付いていない。</p> <p>→<b>本年度授業改善プランの検証に反映する</b></p> 
<b>改善策</b>	<p>III 改善策の明確化 (各教科における課題への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 具体的な目標の設定</li> <li><input type="checkbox"/> 指導方法や学習活動の改善策</li> </ul>	<p>◇年度末に、「方法の説明」「理由の説明」を記述する評価問題を実施する（目標：正答率50%）。</p> <p>◇年度内の学習の中で、方法を説明する場面を設定する。また、根拠を問い、根拠を明確にする活動を取り入れ、理由を説明する力を育む。</p>
<b>授業実践</b>	<p>IV 改善策の実施 (課題解決のための日々の授業づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 指導方法や学習活動の充実</li> </ul>	<p>◇毎時間、なぜ成り立つのかを問い、根拠を言わせたり、書かせたりする。</p> <p>◇方法の説明については、単元の中で取り扱う場数が限られるため、1年間の復習の場面でも取り上げる。</p> 
<b>取り組みの検証</b>	<p>V 改善状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 評価問題の結果分析</li> </ul>	<p>◇年度末に評価問題で、取り組みの効果を検証する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>方法の説明の正答率44%</b> <b>理由の説明の正答率50%</b></p> <p>→県調査と比較して伸びており、力は付いてきた。しかし、方法の説明は目標を達成できておらず、1年間を通した計画的な取り組みが必要である。</p> </div>
<b>検証結果の反映</b>	<p>VI 検証を踏まえた手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既習内容の確実な定着</li> <li><input type="checkbox"/> 次年度指導計画への反映 →課題を踏まえ、知識・技能の習得とそれを活用する力を、バランスよく身に付けさせるための指導計画の作成</li> </ul>	<p>◇春休みの宿題として、全国学力・学習状況調査A問題をまとめたもの（単元テストシステムHPより）を活用する。</p> <p>◇各単元の指導計画を見直す。評価規準として数学的な見方や考え方を設定している時間では、「思考力問題集」指導事例集等を参考にして授業を構想し、説明する力を育成する。また、その時間の評価問題を作成し、到達状況を随時把握する。</p> <p>→<b>次年度授業改善プランに反映する</b></p> 